

総合保健体育科学センター年報

第45号

2022

名古屋大学総合保健体育科学センター

THE ANNUAL REPORT
OF
THE RESEARCH CENTER OF HEALTH,
PHYSICAL FITNESS AND SPORTS
NAGOYA UNIVERSITY

2022
(Volume 45)

目 次

I. 保健管理業務

1. 2022（令和4）年度の保健管理活動について	1
2. 学生の健康診断	4
(1) 定期健康診断	5
1) 定期健康診断（春期）	5
2) 定期健康診断（秋期）	6
3) 精密検査・再検査	7
(2) 特殊健康診断	13
1) 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生	14
2) 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生	20
3. 職員の健康診断	24
(1) 一般定期健康診断	24
(2) 特殊健康診断	28
(3) 保健指導	29
(4) ストレスチェック	29
4. 健康相談と応急処置（学生・職員）	37
5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務	41
6. 運動実施のためのメディカルチェック	43
7. 感染症検査	43
8. 2022年度産業医名簿	44

II. 保健体育の事業

1. 「健康への道」の発行	45
2. 総合保健体育科学センター主管の行事	46

III. 「健康・スポーツ科学」の授業

1. ねらいと授業科目	47
2. 授業形態	47
3. 「講義」について	48
4. 「実習」について	48
5. 「講義」および「実習」の非常勤講師	49

IV. 庶務関係事項	
1. 人事異動	53
2. 2022年度各種委員会委員名簿（学内）（センター内）	54
あしがき	57

保 健 管 理 業 務

1. 2022（令和4）年度の保健管理活動について

2021年1月から始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2022年の第6波、第7波、第8波を経て徐々に感染者数は落ち着いてきたが、保健管理室の業務（各種の健康診断、心身の健康相談など）とコロナ対応業務の両立のため、平日（14-21時）と土日（9-16時）対応の事務職員の補充にて対応した。

保健管理室の改修工事は、2022年3月末日に終了したが、改修途中であった医学部の3月健診は野依記念学術交流館にて行い、胸部レントゲンは健診車にて撮影した。新保健管理室には、エレベーターを設置し、バリアフリー化を実現した。また、COVID-19などの感染力が強い疾患が疑われる患者の休養対応のために新たに簡易陰圧室も設置した。COVID-19蔓延対策として、引き続き保健管理室の業務（各種の健康診断、心身の健康相談など）時には、保健管理室入口に非接触型の体温計を設置して入室者の体調をチェックしたうえで、通常業務や健康診断にあたった。学内でのCOVID-19蔓延予防としては、昨年度同様に、夜間、週末、年末年始を問わず関連する相談対応（メール、電話）や接触者の追跡を行い、学内の行動調査チーム（教育企画課、総務課）との連携も引き続きMicrosoft Teamsを利用した。

学生健康診断の案内を掲示から全学メール（NUCT）での各個人に変更した。健診の予約日開始の周知が徹底され、健診開始予定日初日からの予約率が上昇した結果、健診予定後半日への予約の殺到が解消となった。さらに健診予約時に心臓健診に関する問診（心臓に関する既往歴や自覚症状の有無など）および感染症の既往やワクチン接種の有無に関する感染症アンケートもweb入力化したため、スタッフの入力作業が省略された。Webでの尿検査結果の表示も「異常の有無」の記載から「+-」の記載に変更し、さらに、一次検査（初回検査）と二次検査（初回に異常があった場合の再検査）の両方を記載することに変更した。学生特殊健診における使用している有害物質調査（問診）をweb化したため、各使用物質に対応した必要な検査が自動的に判別可能となった。使用物質の入力と同時に受検票が発行できるようになり、学部事務の作業の大幅軽減となった。学部1年生の健診については心臓問診（精検）に対応するため、6月に追加日程を設定し、さらに、コロナ罹患で自宅待機中の学生や入国制限を受けている留学生に対しては、6月・10月・11月に定期健診日を設定し対応したため、学部事務での多大な負担があった。

健康相談のうち、身体健康分野については、平成30年度から、内科医師が1名削減され4名で担当することとなり、COVID-19の感染対応を含めた業務を維持するのが精一杯で余裕のない状況になっている。メンタルヘルス分野は、保健管理室の精神科医1名、学生相談総合センターの精神科医師3名、国際教育交流センター・アドバイジング部門の精神科医師1名が担当している。平日の日常業務のほか、休日にはホームカミングデイなどその他全学行事、授業・テストの代替日（土曜日）、大学入学共通テスト、個別試験などの救護班を担当しているが、COVID-19の感染対応のための入試救護が例年の倍以上となっている。例年同様に麻疹、風疹などの感染症予防の啓蒙活動にも力を注いでいる。

健康教育については、新入生を対象とする「健康・スポーツ科学講義」を担当し、身体・精神健康についてのオンライン講義を行い、授業のスライドの内容についてはPDFを作成しダウンロードすることを可能とし、受講者へ便宜を図っている。また、G30の学生を対象とする保健の講義を開講して、留学生教育に貢献している。保健管理業務を担っている医師全員は医学系研究科健康増進医学講座（協力講座）に属し、後進の育成に貢献している。令和元年度から留学生オリエンテーションの中で保健管理室の利用について紹介している。

職員の健診は、業務の一部を外部委託し、人事労務課と保健管理室が協力して実施している。平成24年度にデータ収集システムの利用開始、平成26年度に一般定期健診結果のウェブ閲覧ができるようになり、平成28年度に検診車による胸部X線撮影がデジタル直接撮影となり、平成30年度に職員証からバーコードに切り替えた。今年度はCOVID-19の感染防止対策のため密を避ける目的で、一部の健診項目（視力・聴力・他覚問診）は希望制にし、時間を延長して行った。

東山キャンパスの産業医として保健管理室の医師全員が登録され、各建物の巡視や疾病管理面接などを行っている。精神科疾患による休職者の復職へ向けて、指導と職場との調整を行っている。平成28年度からウェブによるストレスチェックを実施しており、平成30年度より時間外労働が2ヵ月連続で月45時間を越えた職員について、保健師による血圧測定と問診、必要に応じて、産業医面談を実施している。今後も、学生に対しては教育企画課および学生支援課、教職員に対しては人事労務課と連携させていただき、健康管理・支援を行っていく。COVID-19感染対策では以前同様に教育企画課、総務課、人事労務課の皆さんに多大なご協力を引き続きいただき、感謝申し上げます。

山本明子

保健管理室年間行事表（定期に行われるものに限る）

	行 事	内 容	対 象 者 等
4月	学生定期健康診断（春期）	胸部X線検査、尿検査、血圧検査、身体測定、栄養状態、 会話域聴力、視診、問診、健康調査、※ 心臓問診・心電図（1年生のみ）	学部生、大学院生、研究生等
5月	学生定期健康診断（春期）の 再検査・精密検査 学生特殊健康診断 学生放射線取り扱い者の調査	尿、胸部X線（診察）、心臓、血圧、栄養等の検査 皮膚検査、眼の検査、血液検査 書類調査後、特殊健康診断要・不要判定	健康診断（春期）の要再検査の学生、 要精密検査者および前年度要観察者以上の学生 R I 従事する学生（6月～7月新規従事者） R I 従事する学生（継続従事者）
6月	職員一般（定期・特定）健康診断 学生定期健康診断（春期末受診者）	胸部X線検査、尿検査、血圧検査、視力検査、身体測定、 会話域聴力、問診 心電図検査、血液検査、腹囲測定 聴力検査（1000・4000Hz） 学生定期健康診断に同じ また再検査・精密検査も同じ	全職員 内35歳と40歳以上の職員 内35歳と40歳と45歳以上の職員、採用者 定期健康診断（春期）未受検の学部1年生 来日が遅れた留学生、 covid19の感染者および、 濃厚接触者で自宅待機だった学生
7月	職員一般（定期・特定）健康診断 学生特殊健康診断 職員特殊健康診断 職員一般健康診断後の経過観察	6月一般健康診断に準ずる 皮膚検査、眼の検査、血液検査 血液検査、皮膚検査、眼の検査 血液検査、皮膚検査、眼の検査、口腔検査、血液検査、 尿検査、胸部X線検査 胸部X線検査	全職員 R I 従事する学生（8月～10月新規従事者）、 R I 従事者の内、受診の指示があった学生 R I 従事者の内、受診の指示があった職員 有害業務に従事する職員 一般健康診断で検査対象となる職員
8月	オープンキャンパスの救護	必要に応じた応急処置	学生、職員および一般来客者
9月	学生有害物質取り扱い者の調査 ストレスチェック面接指導 職員保健指導	書類調査後、特殊健康診断要・不要判定 診察 保健指導・血液検査（対象年齢）	有害物質等に従事する学生 ストレスチェック受検結果、面談の希望した職員 特定保健指導対象外（35歳）の指導が必要な職員
10月	学生定期健康診断（秋期） 学生特殊健康診断 ホームカミングディの救護 学生定期健康診断の精密検査	学生定期健康診断に同じ 皮膚検査、眼の検査、血液検査 血液検査、尿検査、皮膚検査、眼の検査、視診等 必要に応じた応急処置 胸部X線検査	後期（10月）入学生、6月以降来日した留学生 R I 従事する学生（11月～12月新規従事者） 有害物質従事者の内、受診の指示があった学生 学生、職員および一般来訪者 健康診断（春期）の要観察D2以上の学生
11月	学生定期健康診断（秋期）の 再検査・精密検査 学生定期健康診断（春期末受診者）	尿、胸部X線（診察）、心臓、血圧の検査 学生定期健康診断に同じ	健康診断（秋期）の要再検査、要精密検査の学生 特殊健康診断対象学生
12月	学生特殊健康診断 職員一般（定期・特定）健康診断 職員特殊健康診断	皮膚検査、眼の検査、血液検査 職員一般（定期・特定）健康診断に同じ 職員特殊健康診断に同じ	R I 従事する学生（1月～6月新規従事者） 特定業務に従事する職員、7月未受診の職員 R I 従事者の内、受診の指示があった職員、 有害業務に従事する職員
1月	大学入学共通テスト救護 職員一般健康診断後の経過観察	必要に応じた応急処置 胸部X線検査	大学入学共通テスト受験者 一般健康診断で検査対象となる職員、 半年毎経過観察の職員
2月	大学入学試験救護 職員保健指導	必要に応じた応急処置 保健指導	大学入学試験受験者 特定保健指導対象外（35歳）の指導が必要な職員
3月	学生定期健康診断 学生定期健康診断の精密検査	4月の定期に準ずる 4月の定期、5月の精密検査に準ずる	医学部学生（次年度対象者） 学務部指定の教育実習予定学生（次年度対象者） 定期健康診断の要観察以上の学生 （次年度対象者）
年次	職員の長時間労働者への面談 職員の復職者面談 職員健康診断後の相談 生活指導 東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験 大学レクチャー（高等研究院） 大学院入試の救護 スポーツのためのメディカルチェック	診察、問診および指導 診察 診察 経過観察（必要に応じた診察・検査） 必要に応じた応急処置 必要に応じた応急処置 必要に応じた応急処置 必要に応じた健康診断	職員 職員 健康診断結果で相談したい職員 定期健康診断で要観察以上の学生 職員採用試験受験者 学生、職員および一般来訪者 大学院入学試験受験者 体育会運動部（大学公認サークル）加入学生

（注）健康相談、応急処置、精神相談は年中実施

※ コロナ感染症対策のため学生は今年度視力検査は実施しなかった。

健康管理対象者数の年次推移

年度	学 生 数 (春) (女子：内数)		健康診断 受診者	健康診断 春受診率	学 生 数 (年間) (春在籍重複：内数)		健康診断 受診者	健康診断 受診率	健康相談数 (学生・職員)	
	一般相談	精神相談								
2022	15,834	(4,842)	10,466	66.1%	16,146	(88)	10,717	66.7%	10,932	1,835
2021	15,771	(4,796)	10,154	64.4%	16,052	(80)	10,226	64.0%	8,473	2,101
2020	15,772	(4,781)	3,816	24.2%	16,029	(52)	3,847	24.1%	3,909	2,347
2019	15,796	(4,795)	10,835	68.6%	16,078	(69)	11,042	69.0%	2,575	2,203
H30	15,812	(4,766)	11,075	70.0%	16,087	(73)	11,240	70.2%	2,105	2,285
H29	15,819	(4,734)	11,891	75.2%	16,085	(62)	12,142	75.8%	2,134	2,341
H28	15,852	(4,708)	11,973	75.5%	16,100	(55)	12,177	75.9%	2,214	2,207
H27	15,792	(4,622)	11,981	75.9%	16,036	(61)	12,180	76.2%	1,933	1,788
H26	15,928	(4,630)	12,117	76.1%	16,105	(36)	12,299	76.5%	1,791	1,948
H25	15,973	(4,644)	12,267	76.8%	16,148	(26)	12,446	77.2%	1,977	2,075
H24	15,895	(4,720)	12,030	75.7%	16,073	(28)	12,211	76.1%	2,100	2,437
H23	15,948	(4,819)	12,033	75.5%	16,109	(27)	12,203	75.9%	2,459	2,634
H22	15,854	(4,823)	11,758	74.2%	15,961	(30)	11,917	74.8%	2,222	2,659
H21	15,689	(4,784)	11,412	72.7%	* 2022年：健診案内mail実施（3月末） * 平成30年：WEB予約制 * 平成23年：G30学生開始 * 平成22年：後期入学者も全員開始、 秋期健康診断に名称変更				2,175	2,418
H20	15,682	(4,718)	11,594	73.9%					2,307	2,251
H19	15,794	(4,742)	11,368	72.0%					2,212	2,278
H18	15,894	(4,718)	11,295	71.1%					2,735	2,450
H17	15,844	(4,663)	11,159	70.4%					2,147	2,170

年度	学 生 数 (春) (女子：内数)		健康診断 受診者	健康診断 受診率		一般相談 (学生)	精神相談 (学生・職員)
H16	15,811	(4,681)	11,598	73.4%		2,033	1,942
H15	15,784	(4,679)	11,287	71.5%		2,687	1,900
H14	15,741	(4,578)	11,195	71.1%		2,686	1,820
H13	15,760	(4,394)	11,591	73.5%	* 平成13年：5月以降在籍の留学生追加	2,500	1,462
H12 2000	15,554	(4,135)	11,214	72.1%	* 平成12年以前：秋受入留学生センター	2,654	945
H 7 1995	14,388	(2,909)	12,063	83.8%		2,473	434
H 2 1990	11,789	(2,431)	8,718	74.0%		2,441	221
S 60 1985	9,637	(1,711)	7,038	73.0%		3,338	204
S 55 1980	8,876	(1,131)	6,748	76.0%		2,325	162
S 50 1975	8,539		5,707	66.8%		1,298	271

学生数および健康診断数：学部生・研究生（研究生など含まず）

一般健康相談は平成16年度までは学生のみ以下職員を含む

年間受診率は春秋共に在籍し、身分の変わった重複者は除く（秋の健康診断対象外）

2. 学生の健康診断

2022年度 学生の健康診断実施表

定期健康診断（春期）				
	検査項目	検査内容	受診対象者	実施時期
一 次 健 診	1 尿検査（蛋白・潜血・糖）	—	学部学生	医学科5～6年生, M2, D2～D4 保健学科2～4年生, M2, D2, D3 3月7日（月） ～8日（火） 1年生 4月7日（木） ～9日（土） 2年生以上学部生、 大学院生、研究生 4月13日（水） ～28日（木）
	2 胸部X線検査 ※1	—直接撮影	大学院学生	
	3 身体計測（身長・体重）	—	研究生等	
	4 血圧検査	—血圧測定		
	5 栄養（肥満・るい瘦）	—BMI法		
	6 健康個人調査・会話域聴力	—調査書	※1（新入生・医学生・希望者）	
	7 心臓問診 ※2	—調査・心電図	※2（学部1年生のみ）	
			4月健診未受診の学部1年生 待機および入国制限のあった学生	6月9日（木）
再 ・ 精 密 検 査	1 尿検査（蛋白・潜血・糖）	*一血液・尿検査	一次健診で要再検となった者 及び要精検となった者 *（前年度健康診断の結果が 指導区分D-2以上の者 も加える）	5月2日（月） ～5月31日（火） ※3 第2回目は 10月下旬
	2 胸部X線検査	*一診察（直接撮影）※3		
	3 血圧検査	—血液・心電図		
	4 栄養（肥満・るい瘦）	*一血液・体脂肪		
	5 貧血・肝臓・甲状腺検査	*一血液		
	6 心臓検査	*一心電図		
	7 健康個人調査	—面接		
定期健康診断（秋期）				
一 次 健 診	定期健康診断（春期）と同じ		10月入学生（4月時在籍者除く） 6月以降来日した留学生	10月24日（月） 25日（火）
再 ・ 精 密 検 査	（春期項目1.2.3.5.6.7と同じ）		10月入学生 6月以降来日した留学生	10月～11月中旬
特殊健康診断（定期健康診断を必ず受診すること）				
検 査 項 目	1 血液の検査	—血算	放射性同位元素等を取り扱う実験・ 実習に従事する者	1. 5月10～12日
	2 皮膚の検査	—皮膚科医の診察		2. 6月28, 29日
	3 眼の検査	—眼科医の診察（白内障）		3. 10月12, 13日
	4 問診	—健康診断に関する調査書		4. 12月6, 7日
項 目	1 有害物質取扱調査	—取扱に関する調査書	有害物質等を取り扱う実験・実習 に従事する者	10月12, 13日
	2 検査	—診察（眼・皮膚・内科）・ 血液・尿		

*特殊健康診断は定期健康診断を受けてない方は受診できません。（今年度は未受検者に秋にも健診を受けるようにしています）

(1) 定期健康診断

a. 実施状況 (表1)

定期健康診断は、4月(春期)、10月(秋期)の2回実施した。実施項目は、感染症と生活習慣病に重点を置いたもので、肺結核だけでなく、心・腎疾患、高血圧及び内分泌代謝疾患(糖尿病、肥満、るい瘦)と多岐にわたっている。一次健診とその精密検査を行い、受診者全員が健診終了時に医師から直接説明を受け、後にその結果を受け取るシステムになっている。健診の実施場所は全て、保健管理室である。

なお、一次健診に実施した精密検査・再検査の結果は各項目を参照されたい。

I. 定期健康診断(春期)

在籍学生全員に実施している。病院実習生(一部教育実習)については、実習前健診として対応できるよう3月にも健診日程をもうけている。またLGBT等の学生については個別対応している。

4月末受検だった学部新1年生および待機(コロナ・入国規制)対象学生約400名には、6月の名大祭に併せて実施した。

2022年度 定期健康診断(春期) 受診結果

学部・研究科	対象者数(5.1在籍者)			受診者数			受診率 %	対象外(非正規生)	
	学部	研究科	計	学部	研究科	計		対象者数	受診者数
文学部・人文学/文学研究科	569	437	1,006	412	179	591	58.7	74	12
教育学部・教育発達科学研究科	323	242	565	237	76	313	55.4	18	1
法学部・法学研究科	680	162	842	422	53	475	56.4	53	4
経済学部・経済学研究科	917	142	1,059	548	51	599	56.6	18	2
理学部・理学研究科	1,217	549	1,766	842	419	1,261	71.4	16	1
医学部・医学系研究科 医学	689	731	1,420	598	98	696	49.0	69	8
保健学	831	200	1,031	793	123	916	88.8	1	1
工学部・工学研究科	2,946	1,834	4,780	2,073	1,380	3,453	72.2	38	8
農学部・生命農学研究科	748	477	1,225	574	364	938	76.6	8	2
情報/情報文化学部・情報学研究科	605	515	1,120	413	293	706	63.0	16	4
国際開発研究科		201	201		57	57	28.4	10	0
多元数理科学研究科		171	171		67	67	39.2	5	0
国際言語文化研究科		2	2		1	1	50.0	—	—
環境学研究科		429	429		249	249	58.0	38	5
創薬科学研究科		105	105		91	91	86.7	0	0
法科大学院・専門職学位課程		111	111		28	28	25.2	—	—
国際言語センター	—	—	—	—	—	—	—	34	27
グローバル・エンゲージメントセンター	—	—	—	—	—	—	—	9	3
その他		1	1		0	0	0.0	1	3
特別研究員							—	27	22
合計	9,565	6,206	15,771	6,806	3,348	10,154	65.9	435	103

※非正規生の受診者数の内4名は5月中旬に来日したため対象者数に含まず

II. 定期健康診断（秋期）

6月以降に渡日した留学生（入国制限254名含む）・後期入学生（4月末現在で名古屋大学に籍のあった学生は除く）および特殊健康診断対象者で今年度4月の健康診断未受診の学生に対して、健康診断を実施している。

2022年度 定期健康診断（秋期） 受診結果

学部・研究科	後期入学生・留学生					4月健診未受診者				'22年度 受診率 (正規生) %
	正規生		受診率 %	対象外(非正規生)		受診者数			対象外 (内数)	
	対象者数	受診者数		対象者数	受診者数	入国制限	特殊	他院		
文学部・文学研究科	33	27	81.8	51	21	14		6	(2)	60.8
教育学部・教育発達科学研究科	0			9	5			2	(0)	55.8
法学部・法学研究科	41	6	14.6	34	2	18		7	(3)	55.7
経済学部・経済学研究科	10	6	60.0	31	3	6		2	(0)	56.9
理学部・理学研究科	24	13	54.2	24	7	13	6	7	(0)	72.4
医学部・医学系研究科 医学	20	15	75.0	20	2	1	3	22	(1)	51.0
保健学	0			0			1	28	(1)	92.8
工学部・工学研究科	69	27	39.1	63	33	30	36	20	(0)	72.9
農学部・生命農学研究科	26	11	42.3	12	4	1	10	9	(1)	77.3
情報/情報文化学部・情報学研究科	18	8	44.4	20	8	11		3	(1)	65.2
国際開発研究科	14	6	42.9	16	2	11		3	(2)	30.2
多元数理科学研究科	3	1	33.3	0				1	(0)	44.8
国際言語文化研究科	—	—	—	—	—	—				50.0
環境学研究科	24	12	50.0	20	17	8		10	(1)	59.6
創薬科学研究科	0			0						94.3
法科大学院・専門職学位課程	—	—	—	—	—	—				25.2
国際言語センター	—	—	—	25	24					—
グローバル・エンゲージメントセンター	—	—	—	18	2					—
その他	—	—	—	3						—
合計	282	132	46.8	346	130	113	43	120	(12)	67.2

*対象者の内96名は春期にも当大学の学生

b. 精密検査

胸部X線検査：直接撮影を実施した。第1回（春期）で異常を疑われた学生および前年度からの要観察者（D-2以上）を対象に診察を実施した。

第2回（秋期）では異常を疑われた学生については診察を行った。春期の検査にて要観察（年2回受診）と判定した学生に対しては直接撮影を実施し、要医療（医療機関に通院中）の学生については診察を行った。

尿 検 査：尿検査機器にて蛋白・潜血・糖の項目を検査し、複合試験紙を用い再検査し、さらに陽性の学生に精密検査を行った。

一次検査・再検査で蛋白・潜血・糖それぞれが「+」以上の学生を陽性とした。

血 圧 検 査：自動血圧計を用い座位で測定し、収縮期血圧（SBP）140mmHg以上もしくは拡張期血圧（DBP）90mmHg以上を再検査対象としている。再検査は5分間安静後、自動血圧計あるいは、仰臥位で測定および指導を行い、SBP160mmHg以上もしくはDBP95mmHg以上に精密検査を行った。

心 臓 検 査：原則として学部新1年生に心音検査を行い心雑音等が聴取された学生に対して心電図検査を行った。また従来からの要観察者（D-2以上）、胸部X線検査で心精検と判定された学生に対しても同様に心電図検査を実施した。

栄 養：BMI（Body Mass Index、体重(kg)÷[身長(m)]²）が15以下をるい瘦・30以上を肥満とし希望した学生に精密検査を行った。ただし学部1年生の肥満対象者は必須とした。

問診、視診および触診で疾患の疑いのある学生に病院紹介を行っている。

秋期健診においては、栄養以外の項目について精密検査を行っている。

項目	再 検 査		精 密 検 査 内 容	
	内 容	結 果		
尿	蛋白・潜血	陽 性	検 尿	沈査
	糖	陽 性	採 血	空腹時血糖・グリコヘモグロビンA1c
血 圧	座位・自動血圧計 ↓ 仰臥位・水銀血圧計	SBP160以上 もしくは DBP95以上	心電図	

項目	精 密 検 査 内 容	
肥 満	計 測	体脂肪率（インピーダンス法）、腹囲測定（臍の高さ）
	採 血	総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪、GOT、GPT、 γ -GTP、尿酸、インスリン、空腹時血糖 (ただし新規でこの検査を受診する学生はグリコヘモグロビンA1cも)
るい瘦	採 血	総蛋白、ALB、A/G、GOT、GPT、血清アミラーゼ、尿素窒素、総コレステロール、Na、K、Cl

判定区分は以下のように生活規制、医療の両面を考慮して決定した。

判 定 区 分

1. 生活規制の面からの区分

記 号

- A. (要休業) 授業を休む必要のあるもの
- B. (要軽業) 授業制限を加える必要のあるもの
- C. (要注意) 授業をほぼ平常に行ってよいもの
- D. (健康) 全く正常の生活でよいもの

2. 医療面からの区分

記 号

- 1. (要医療) 医師による直接の医療行為を必要とするもの
- 2. (要観察) 医師による直接の医療行為を必要としないが、定期的に医師の観察指導を必要とするもの
- 3. (健康) 医師による直接、間接の医療行為を全く必要としないもの

注：学校保健安全法施行規則別表第一による。

再検査、精密検査を受けた結果、生活指導を要する者については、医師が直接指導した。

また精密検査項目以外の通院中の学生および障がいのある学生に対して状況確認した。

2022年度 胸部X線 精密検査結果

学部・研究科	有所見 判定数	(内) 心検 へ	第 1 回							第 2 回						
			対象 者数	判 定 区 分				未 受 検	対象 者数	判 定 区 分				未 受 検		
				D-3	D-2	D-1	A-1			D-3	D-2	D-1	A-1			
文 学 部	11		0						0							
教 育 学 部	5	1	1	1					0							
法 学 部	7		0						0							
経 済 学 部	11	1	1		1				1	1						
理 学 部	22		2		1	1			1			1				
医 学 部	医学科	23	3	1	2				0							
	保健学科	15	1	3	2	1			0							
工 学 部	60	2	3	3					0							
農 学 部	13		4		3	1			2	1		1				
情 報 学 部	7		1			1			1		1					
人文学・文学研究科	5		0						0							
教育発達科学研究科	3		1	1					0							
法 学 研 究 科	4		2		1	1			2		2					
経 済 学 研 究 科	3		0						0							
情 報 学 研 究 科	6		2		2				0							
理 学 研 究 科	20		1	1					0							
医 学 系	医学専攻	3	1	3	1	1	1		2	1		1				
	保健学専攻	1		1	1				0							
工 学 研 究 科	55	1	5	1	3	1			1			1				
生命農学研究科	12		2		1	1			2	1		1				
国際開発研究科	0		0						0							
多元数理科学研究科	4		0						0							
環 境 学 研 究 科	10		1			1			1			1				
創 薬 科 学 研 究 科	1		0						0							
法・専門職学位課程	1		1		1				0							
そ の 他	2		0						0							
春期計	学 部	174	5	18	5	9	4	0	0	5	2	1	2	0	0	
	研 究 科	130	2	19	5	9	5	0	0	8	2	2	4	0	0	
秋期	学部・研究生	10	1	1		1				-	-	-	-	-	-	
合 計		314	8	38	10	19	9	0	0	13	4	3	6	0	0	

2022年度 腎臓（尿蛋白・潜血） 再検査検査結果

学部・研究科	蛋白再検査				潜血再検査				
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	対象者数	異常なし	要精検	未受検	
文学部	3	2	1		6	2	4		
教育学部	2	2			5	3	1	1	
法学部	3	2		1	10	8		2	
経済学部	9	6	3		9	1	6	2	
理学部	10	5	3	2	10	4	4	2	
医学部	医学科	0			11	7	1	3	
	保健学科	5	2	2	1	18	12	3	3
工学部	16	6	3	7	21	6	10	5	
農学部	3		2	1	10	3	2	5	
情報学部	2	2			9	5	2	2	
人文学・文学研究科	3	1	2		8	4	4		
教育発達科学研究科	0				2	1	1		
法学研究科	1	1			0				
経済学研究科	2	2			1			1	
情報学研究科	1	1			5	3	1	1	
理学研究科	5	2	2	1	6	2	3	1	
医学系	医学専攻	1		1	2	1	1		
	保健学専攻	0			1	1			
工学研究科	14	6	8		14	7	5	2	
生命農学研究科	1	1			5	2	2	1	
国際開発研究科	1		1		2		1	1	
多元数理科学研究科	1		1		4	2	2		
環境学研究科	2	1		1	5	3		2	
創薬科学研究科	0				0				
法・専門職学位課程	0				0				
その他	0				1		1		
春期計	学部	53	27	14	12	109	51	33	25
	研究科	32	15	15	2	56	26	21	9
秋期	学部・研究生	1	1			6	1	1	4
合計		86	43	29	14	171	78	55	38

2022年度 腎臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考	
		D-3	D-2	D-1			
文学部	4	1	1	2			
教育学部	1			1			
法学部	0						
経済学部	6	1	1	4			
理学部	4	1	2	1			
医学部	医学科	1		1			
	保健学科	4		3	1		
工学部	10	1	4	4	1		
農学部	3		1	2			
情報学部	2		1	1			
人文学・文学研究科	3		2	1			
教育発達科学研究科	2	1		1			
法学研究科	0						
経済学研究科	0						
情報学研究科	1			1			
理学研究科	3			3			
医学系	医学専攻	1		1			
	保健学専攻	0					
工学研究科	8	3	1	3	1		
生命農学研究科	2	1	1				
国際開発研究科	1			1			
多元数理科学研究科	2		1	1			
環境学研究科	0						
創薬科学研究科	0						
法・専門職学位課程	0						
その他	1		1				
春期計	学部	35	4	13	17	1	6名通院中
	研究科	24	5	7	11	1	
秋期	学部・研究生	1		1			
合計		60	9	21	28	2	他4名通院中

2022年度 尿糖 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査 の 判 定 区 分				備 考
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D-3	D-2	D-1	未受検	
文 学 部	1	1	0						
教 育 学 部	2		1	1			1		
法 学 部	3	1	1	1			1		
経 済 学 部	1	1	0						
理 学 部	6	3	2	1			2		
医 学 部	1	1	0						
保健学科	3	1	2				2		
工 学 部	6	4	1	1		1			
農 学 部	1		1				1		
情 報 学 部	1		0	1					
人文学・文学研究科	2	1	0	1					
教育発達科学研究科	0		0						
法 学 研 究 科	0		0						
経 済 学 研 究 科	0		0						
情 報 学 研 究 科	3	1	0	2					
理 学 研 究 科	3	1	2			1	1		
医学系 医学専攻	1		0	1					
保健学専攻	1		1				1		
工 学 研 究 科	12	8	3	1			3		
生命農学研究科	1	1	0						
国際開発研究科	0		0						
多元数理科学研究科	2	2	0						
環 境 学 研 究 科	3	2	1				1		
創薬科学研究科	0		0						
法・専門職学位課程	0		0						
そ の 他	0		0						
春期計	25	12	8	5	0	1	7	0	
研 究 科	28	16	7	5	0	1	6	0	
秋期	5	3	2				2		
学 部 ・ 研 究 生	58	31	17	10	0	2	15	0	他3名通院中
合 計									

2022年度 血圧 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査 の 判 定 区 分				備 考
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D-3	D-2	D-1	未受検	
文 学 部	4	3	0	1					
教 育 学 部	4	4	0						
法 学 部	4	4	0						
経 済 学 部	5	4	1		1				
理 学 部	17	17	0						
医 学 部	13	13	0						
保健学科	9	9	0						
工 学 部	30	29	1				1		
農 学 部	1		0	1					
情 報 学 部	5	5	0						
人文学・文学研究科	5	5	0						
教育発達科学研究科	0		0						
法 学 研 究 科	1		1				1		
経 済 学 研 究 科	1	1	0						
情 報 学 研 究 科	7	7	0						
理 学 研 究 科	10	9	1				1		
医学系 医学専攻	3	2	1			1			
保健学専攻	5	4	1				1		
工 学 研 究 科	23	21	2				2		
生命農学研究科	5	5	0						
国際開発研究科	4	3	1				1		
多元数理科学研究科	1	1	0						
環 境 学 研 究 科	4	3	1				1		
創薬科学研究科	1	1	0						
法・専門職学位課程	0		0						
そ の 他	0		0						
春期計	92	88	2	2	1	0	1	0	
研 究 科	70	62	8	0	0	1	7	0	
秋期	16	12	0	4					
学 部 ・ 研 究 生	178	162	10	6	1	1	8	0	他1名通院中
合 計									

2022年度 心臓 精密検査結果

学部・研究科	問診所見あり 異常なし	対象者数	判定区分			未受検	備考
			D-3	D-2	D-1		
文学部	4	1	1				
教育学部	8	2	1		1		
法学部	8	5	2	1	2		
経済学部	8	8	7		1		
理学部	14	7			7		
医学部	医学科	8	1				
	保健学科	18	4	1	4		
工学部	47	12	7	3	1	1	
農学部	6	4	3	1			
情報学部	5	5	3	1	1		
人文学・文学研究科		1			1		
教育発達科学研究科		0					
法学研究科		0					
経済学研究科		0					
情報学研究科		1			1		
理学研究科		3	1		2		
医学系 研究科	医学専攻	1	1				
	保健学専攻	0					
工学研究科		8	2	1	5		
生命農学研究科		1			1		
国際開発研究科		0					
多元数理科学研究科		0					
環境学研究科		0					
創薬科学研究科		0					
法・専門職学位課程		0					
その他		0					
春期計	学部	126	54	29	7	17	1
	研究科	0	15	4	1	10	
秋期	学部・研究生	3	1	1			
合計		129	70	34	8	27	1 他22名：通院中

2022年度 肥満 (BMI 30 以上) 精密検査結果

30以上：121名

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	6	2	3		1	
教育学部	1			1		
法学部	4	1	1		2	
経済学部	2	2				
理学部	8	1	3	3	1	
医学部	医学科	3		2	1	
	保健学科	4	1	3		
工学部	18	3	4	7	4	
農学部	3	1			2	
情報学部	3	1	1	1		
人文学・文学研究科	8	1	1	2	4	
教育発達科学研究科	0					
法学研究科	2	1	1			
経済学研究科	0					
情報学研究科	5		2	2	1	
理学研究科	3		1	1	1	
医学系 研究科	医学専攻	2		1	1	
	保健学専攻	0				
工学研究科	17	5	4	3	5	
生命農学研究科	4		2		2	
国際開発研究科	3	2	1			
多元数理科学研究科	0					
環境学研究科	0					
創薬科学研究科	1	1				
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
春期計	学部	52	12	17	12	11
	研究科	45	10	13	9	13
合計		97	22	30	21	24

2022年度 るい瘦 (BMI 15以下) 精密検査結果

15以下：27名

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	2	2				
教育学部	0					
法学部	1	1				
経済学部	2	2				
理学部	3	3				
医学部	0					
医学部	0					
工学部	1	1				
農学部	1				1	
情報学部	1	1				
人文学・文学研究科	0					
教育発達科学研究科	1	1				
法学研究科	0					
経済学研究科	1	1				
情報学研究科	0					
理学研究科	0					
医学系	0					
医学系	0					
工学研究科	2	2				
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	0					
多元数理科学研究科	1			1		
環境学研究科	0					
創薬科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
春期計	11	10	0	0	1	
研究科	5	4	0	1	0	
合計	16	14	0	1	1	

2022年度 その他の精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
春期計	0					
学部	2	2				貧血
研究科	0					
秋期	0					
学部・研究生	0					
合計	2	2	0	0	0	

【貧血】採血：赤血球，白血球，Hb，Ht，PLT，血液像

2022年度 その他通院中結果

疾患名	判定区分	備考
	D-1	
甲状腺疾患	50	
肝臓疾患	3	
貧血	0	
てんか	13	
消化器系疾患	20	クローン病，潰瘍性大腸炎など
自己免疫疾患	9	SLE，リウマチなど
四肢機能障がい	4	
その他	17	悪性疾患など
合計	116	

表 1

《健康調査票》

英語

あなたの情報

所属部局 工学研究科 前期過程
 学生番号 123456789
 カナシメi Mイダイ タロウ
 氏名 名大 太郎
 学年 3年生
 連絡先

英語バージョンだけ連絡先がない場合、「担当教官の内線を記入してください」と表示される

内線

電話がないので指導教員の連絡先です
 お知らせすることがある場合、電話0527893970より連絡します

X線撮影

X線撮影を希望しますか
 はい

対象には表示されない
 (1年・M1・D1・医学部生・
 医学系研究生・研究生)
 希望者2年生以上

いいえ
 → 妊娠中 (以下記入不要です)
 来年3月までに該当する全ての項目にチェックしてください
 奨学金・入寮・留学・課外活動・就職活動等に診断書の必要がない
 実験実習で放射線に従事する予定はない
 実験実習で有害物質を取り扱う予定はない
 全てにチェックがない場合はX線撮影を希望してください

今までかかった病気

特になし	<input type="checkbox"/> 特になし	いずれにも該当しない場合はチェックしてください
心臓疾患	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
肝臓疾患	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
腎臓疾患	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
糖尿病	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
肺結核	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
気胸	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
気管支喘息	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
甲状腺疾患	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
てんかん	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
高血圧	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input type="radio"/> なし
その他	<input type="checkbox"/> 回/年通院	<input type="radio"/> 過去にあった <input checked="" type="radio"/> なし → 病名を記入してください
最近2週間以上咳が続いている	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
1年以内に気を失ったことがありますか	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ → 原因を記入してください

生活習慣

喫煙について	<input type="radio"/> 毎日	<input type="radio"/> 時々	<input type="radio"/> しない
飲酒について	<input type="radio"/> 毎日	<input type="radio"/> 時々	<input type="radio"/> しない
運動について	<input type="radio"/> 毎日	<input type="radio"/> 時々	<input type="radio"/> しない
睡眠について	<input type="text"/> 時間		
朝食について	<input type="radio"/> 毎日	<input type="radio"/> 時々	<input type="radio"/> しない
暮らしについて	<input type="radio"/> 自宅	<input type="radio"/> 一人暮らし	<input type="radio"/> 大学の寮 <input type="radio"/> その他

最近感じること

ちょっとしたことで気になって仕方がないですか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
すぐかっとなったり、いらいらしますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
寝つきが悪かったり、眠ってもすぐに目を覚ますことがよくありますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
自分の健康のことが気になって仕方がないですか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
同じ動作をくりかえしたり、同じ概念がいつも頭から離れなかつたりすることがありますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
自分と周囲とがぼんやりとしていて、あたかもガラスで仕切られているような気がしますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
自分の心の中のことが他人に知られているように感じるがありますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
自分の体臭や視線が他人に迷惑をかけていると思うことがありますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
他人が避けたり、人に監視されていると思うことがありますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
やる気がなくなり、ぼんやりとしていることがよくありますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
孤独感を強く感じたりすることがよくありますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
自殺したいと思うことがありますか	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
体と心の健康について医師に相談したいことや、気になることがありますか?	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ

(2) 特殊健康診断

本健診は放射線(表2)あるいは有害物質を取り扱う(表3, 4)学生に対して行うものである。健診項目および健診結果を表に示した。

*以下 学部・研究科は略し、対象外は含まず。(例:理学部・理学研究科 → 理学部 etc)

I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生

2022年度 放射線従事学生状況および検査結果

1. 皮膚検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
理 学 部	142	69	13	2	1	0	85	85			227
医 学 部 ・ 医	15	2	3	5	3	0	13	13			28
医 学 部 ・ 保	106	3	0	0	41	0	44	43	1		150
工 学 部	536	193	61	40	25	1	320	320			856
農 学 部	48	11	3	1	16	1	32	31		1	80
環 境	11	5	1	0	0	0	6	6			17
創 薬	9	3	1	0	0	0	4	4			13
他 の 所 属	5	2	0	1	0	0	3	3			8
そ の 他	5	2	0	0	1	0	3	3			8
合 計	877	290	82	49	87	2	510	508	1	1	1,387

2. 眼の検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
理 学 部	142	69	13	2	1	0	85	85			227
医 学 部 ・ 医	15	2	3	5	3	0	13	13			28
医 学 部 ・ 保	106	3	0	0	41	0	44	44			150
工 学 部	536	193	61	40	25	1	320	320			856
農 学 部	48	11	3	1	16	1	32	32			80
環 境	11	5	1	0	0	0	6	6			17
創 薬	9	3	1	0	0	0	4	4			13
他 の 所 属	5	2	0	1	0	0	3	3			8
そ の 他	5	2	0	0	1	0	3	3			8
合 計	877	290	82	49	87	2	510	510	0	0	1,387

3. 血液検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
理 学 部	140	69	15	2	1	0	87	85		2	227
医 学 部 ・ 医	15	2	3	5	3	0	13	13			28
医 学 部 ・ 保	104	3	2	0	41	0	46	46			150
工 学 部	532	193	65	40	25	1	324	316	5	3	856
農 学 部	48	11	3	1	16	1	32	31	1		80
環 境	11	5	1	0	0	0	6	5		1	17
創 薬	8	3	2	0	0	0	5	4		1	13
他 の 所 属	5	2	0	1	0	0	3	3			8
そ の 他	5	2	0	0	1	0	3	3			8
合 計	868	290	91	49	87	2	519	506	6	7	1,387

その他：実験研究等のため受け入れている日本学術振興会特別研究員・他大学生

放射線を取り扱う学生の特殊健康診断実施要領

名古屋大学において放射線業務（RI、放射線発生装置、X線発生装置等を用いた実習、実験、診療等）を行う学生（学部生、大学院生、研究生等）は以下に従い、「特殊健康診断」を受けなければならない。

対象者区分

1. 新規従事者

1) 新たに放射線業務を行う者：

問診及び検査（血液、皮膚、眼の検査）が必須である。その後の健康診断は、継続従事者に準じて実施する。

2. 継続従事者

1) 継続して放射線業務を行う者：

一年を超えない期間ごとに問診を必ず受け、必要に応じて検査（血液、皮膚、眼の検査）を受けなければならない。

2) 放射線業務あるいは従事者登録の期間にブランクがある者（過去にRIを取り扱ったがその後放射線業務をせず放射線業務従事者としての登録をしていない者、海外留学などで放射線業務に中断期間がある者等）：

放射線業務を始める前に問診を必ず受け、必要に応じて検査（血液、皮膚、眼の検査）を受けなければならない。所属部局の放射線取扱主任者は中断期間等について被ばく歴等の調査、判定を行う。

3. RI資格追加取得者、名大では新規だが学外で従事歴がある者

1) RI資格追加取得者（第3種資格（X線）所持者が第2種資格（RI）を追加取得する場合、すなわち、X線装置を使用する電離放射線障害防止規則のみに係る放射線業務従事者が、新たにRI規則法に係る放射線業務従事者になる場合）：

新規従事者として特殊健康診断（問診及び検査（血液、皮膚、眼の検査））を受けなければならない。所属部局の放射線取扱主任者は、過去の（X線業務従事期間の）被ばく歴を調査し評価する。

2) 名大では新規だが学外で従事歴がある者（名古屋大学外で既に放射線業務歴がある者が、名古屋大学で新たに放射線業務に従事する場合）：

所属部局の放射線取扱主任者は、従事者が添付する学外従事時の被ばく記録をもとに、過去の被ばく歴を調査し評価する。

放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票（以下、「問診受検票」という。）

1. 本人用、教務係・放射線管理室用、保健管理室用の三枚複写になっている。

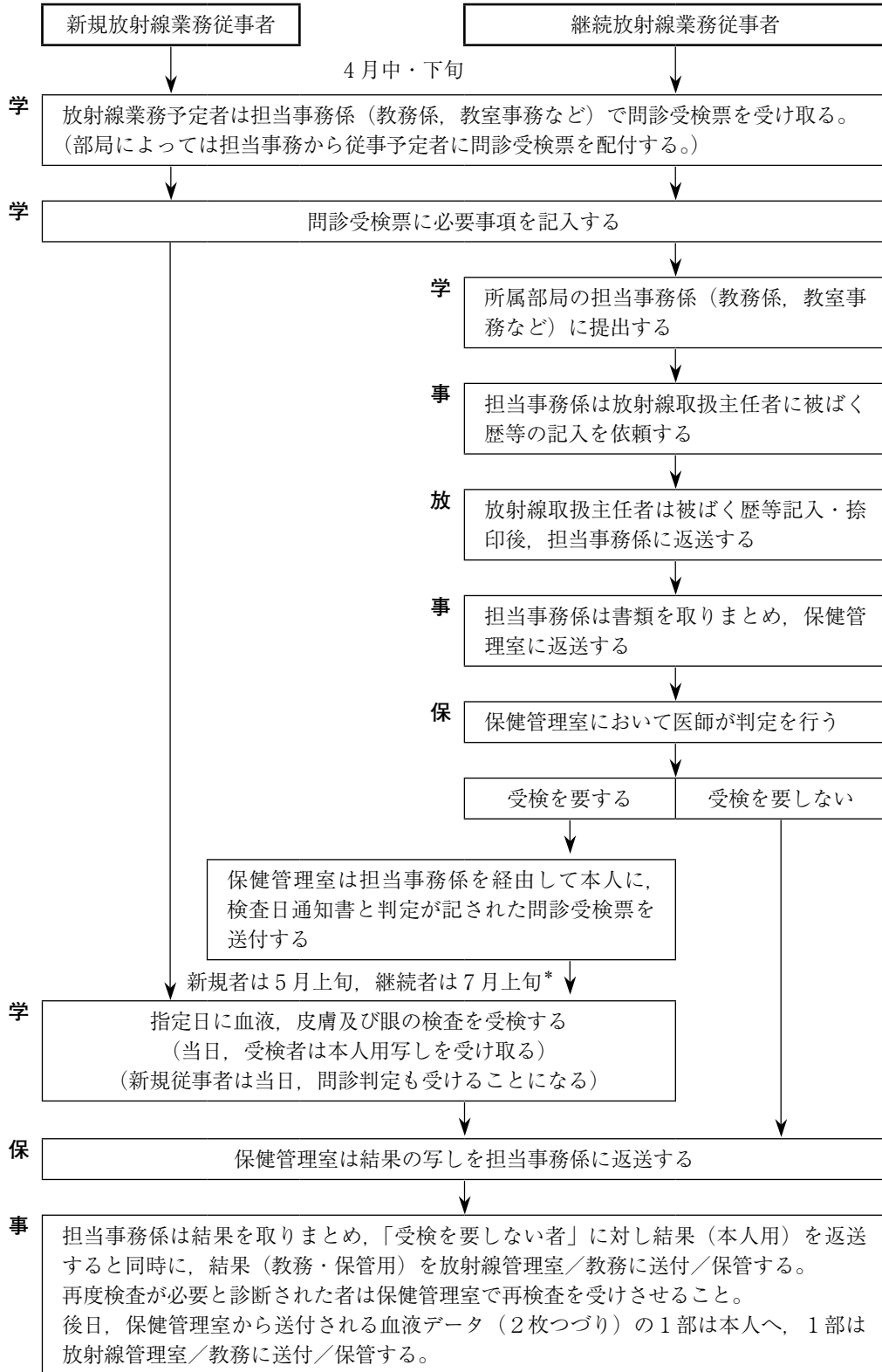
2. 年度当初に保健管理室から各部局教務係に配付されたものを「手続きの流れ」に沿って処理する。

その他

1. 名古屋大学保健管理室での血液検査は採血日をもって検査完了とみなす。但し、後日保健管理室から送付される血液検査データ（2枚つづり）を、教務係は一部を本人に配付するとともに一部を保管又は放射線管理室に送付する。
2. 健康診断結果（問診受検票及び血液検査データ）は本人保管を原則とする。本人は放射線管理室からの依頼に応じてその写しを提出する義務がある。提出のない場合は放射線業務従事者としての登録ができない。
3. 急なRI業務開始や予定外のRI業務等で特殊健康診断を受ける必要がある場合、年間健診予定期日に関し保健管理室に確認し、他施設で受診する。そのうえで、保健管理室で判定を受ける必要がある。その場合、結果は6ヵ月以内のものを有効とする。
4. 放射線取扱主任者、保健管理室長は被ばく予想量が5 mSv以下であっても必要に応じて検査を勧告できる。また本人も検査を希望・受診することができる。
5. 妊娠中、妊娠の可能性のある女子従事者は放射線取扱主任者にその旨照会する。

特殊健康診断の手続きの流れ【学生】

各枠外に主たる作業者を **学：学生**、**事：事務係**、**放：主任者**、**保：保健管理室** で示す。



*：特殊健康診断予定期間はここに示した時期を含め年4回設けられている。

放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票 (略：問診受検票)

No. **本人用**

* 切り取らず3枚とも提出

折り曲げ厳禁

要保管

放射線を扱う業務に必要です。この用紙及び血液結果のある方はその用紙も必ず保管してください。

[20 年度]		学生	
学生番号		記入年月日	年 月 日
フリガナ		性別	男 ・ 女
氏名		生年月日	年 月 日生
学部 研究科	学科 専攻	コース (B・M・D) 研究室 年	所属学部・所属大学の変更 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(前所属:)
連絡先(すぐに連絡がつく電話番号・内線)			

従事者記入欄: この欄は従事者自身が記入してください。該当区分にチェックし、必要事項を記入してください。

<input type="checkbox"/> 継続従事者 (以前から放射線業務に従事している者) ※指定日までに本用紙を所定の事務担当者に提出してください I] 本年度春期定期健康診断 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> 未受診 II] 放射線業務内容調査 ① 作業予定内容 <input type="checkbox"/> 非密封RIの取扱い <input type="checkbox"/> エックス線装置の取扱い <input type="checkbox"/> 密封RIの取扱い <input type="checkbox"/> 核燃料物質の取扱い <input type="checkbox"/> 加速器の取扱い <input type="checkbox"/> 管理区域への立入 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)) ② 作業予定場所 <input type="checkbox"/> 学内(具体的に:)) <input type="checkbox"/> 学外(具体的に:)) ③ 作業場所の変更 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(具体的に:)) ④ 作業内容の変更、従事時間数の増加、その他の理由による被曝線量の増減が見込まれますか? <input type="checkbox"/> 減少又は同程度の予定 <input type="checkbox"/> 増加の予定(予想線量、原因:)) III] 自覚症状調査: 放射線業務に関連して、身体に関して心配事がありましたら記入してください <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(具体的に:)) 以下、該当者はチェックしてください <input type="checkbox"/> 本年度の初回特殊健康診断開催前に行われる学部実習受講のために、前年度末の特殊健康診断を受検済 ※この用紙に前回の受検票の写しを添付し、所定の事務担当者に提出してください	<input type="checkbox"/> 新規従事者 (初めて放射線業務に従事予定の者) ※本用紙を持参して、指定の日時に特殊健康診断を受検してください I] 本年度春期定期健康診断 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> 未受診 II] 特殊健康診断受検理由 <input type="checkbox"/> RIまたはX線取扱資格を取得し、放射線業務に従事するため <input type="checkbox"/> RI講習 <input type="checkbox"/> X線講習 <input type="checkbox"/> 学部実習 受講予定 *健康診断は1年が有効期間です。期間内に放射線業務に従事することのため受検 <input type="checkbox"/> _____ のため受検 <input type="checkbox"/> RI資格追加取得者、名大では新規だが学外で従事歴がある者 ※本用紙を主任者に提出し主任者記入欄(被曝歴)(☆)の記入を受けた後、本用紙を持参して、指定の日時に特殊健康診断を受検してください I] 本年度春期定期健康診断 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> 未受診 II] 特殊健康診断受検理由 <input type="checkbox"/> 3種(X線)資格者がRI資格を追加取得し1種資格に変更予定 <input type="checkbox"/> 学外で放射線業務歴があり、名古屋大学で新たに従事予定 *学外で放射線業務歴がある者は、主任者記入欄(被曝歴)の記入を依頼する際に学外での被曝記録を添付してください III] 今までの放射線業務について記入して下さい 作業場所()) 作業内容()) 作業期間()) 放射線障害の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(具体的に:)) 自覚症状の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(具体的に:))
--	---

主任者記入欄(被曝歴): この欄は放射線取扱主任者が記入します。

前年度の特殊健康診断(検査)受検状況(全てでない場合、検査項目に○をつける) <input type="checkbox"/> 受検済み <input type="checkbox"/> 受検不要 <input type="checkbox"/> 未受検 (皮膚・眼・血液) (皮膚・眼・血液)	いずれかにチェック <input type="checkbox"/> 前年度従事している <input type="checkbox"/> 本年度より従事 <input type="checkbox"/> 以前従事: 年 月 ~ 年 月
前年度の(前回特殊健康診断後)被曝線量 ☆の者は過去の要検線量 <input type="checkbox"/> 前回の特殊健康診断後従事歴なし(前回特殊健康診断 年度)	過去の被曝歴 (特記事項欄に作業の場所、内容、期間、線量、放射線障害の有無、自覚症状の有無その他放射線による被曝の状況を記入) <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 特記事項
本年度の被曝予測: 5mSvを超えるおそれが <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
上記のとおりであることを認めます。 20 年 月 日 放射線取扱主任者 印	

保健管理室記入欄: この欄は保健管理室が記入します。

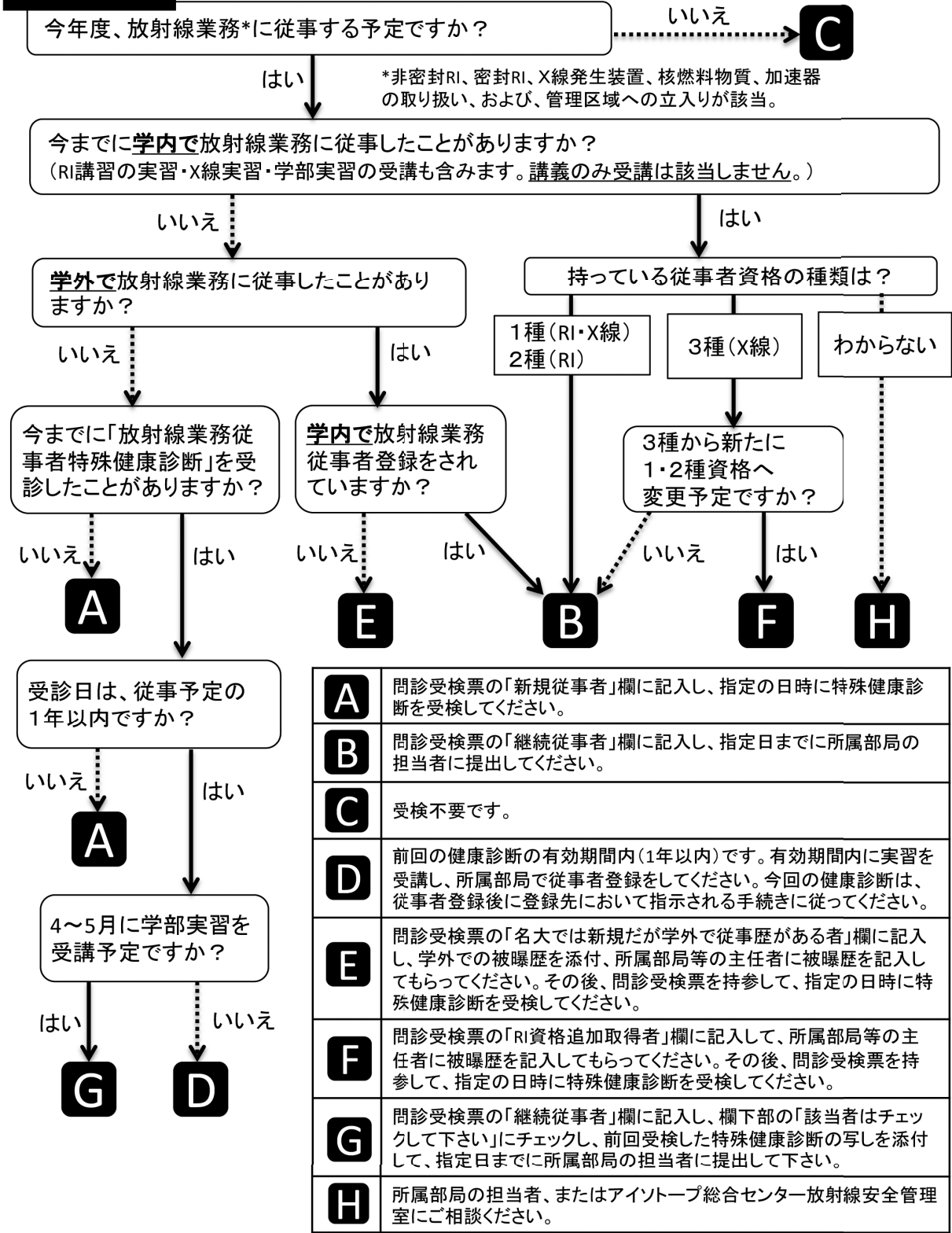
問診項目の結果より、本年度の特殊健康診断については			
新規従事者 <input type="checkbox"/> 必要である	継続従事者 <input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	実施場所 名大保健管理室 他())	結果及び講じた措置 <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要観察 <input type="checkbox"/> 要医療 20 年 月 日 医師名 印
皮膚検査	上記と同じ	上記と同じ	上記と同じ
眼の検査	上記と同じ	上記と同じ	上記と同じ
血液検査	上記と同じ	上記と同じ	検査結果(別紙)は後日報告 20 年 月 日 医師名 印
			20 年 月 日 保健管理室長 印

*血液検査必須項目: 赤血球数、血色素量又はヘマトクリット値、白血球数、白血球百分率

放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票(問診受検票) 記入フローチャート(学生)

詳細版

スタート!



※フローチャート以外の動きは、所属部局の放射線取扱主任者、保健管理室の判断によるものとする

有害物質取り扱い状況をWEB調査で実施し、今年度より受検票をダウンロードできるようにし、学生への個別通知などの事務作業を大幅に低減できた。

II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生

2022年度 有害物質等従事学生の調査および検査結果

調査結果

学部・研究科	有害物質取扱者	健康診断対象者	受検者
理 学 部	126	107	80
医学部・医学	2	2	2
医学部・保健学	33	7	7
工 学 部	281	192	163
農 学 部	80	53	40
環境学研究科	3	2	2
情 報 学 部	1	0	0
創薬科学研究科	3	3	1
そ の 他	6	6	5
合 計	535	372	300

※対象者は、物質の取扱が週1回以上の学生及び自覚症状のある学生

その他には4名学術振興会研究員が含まれる

健康診断結果

検査	学部・研究科	受検者	受 検 者 の 結 果			対象者 未受検
			異常なし	所見有り	所見・要医	
内 科	理	80	80			27
	医	2	2			0
	保 健	7	7			0
	工	163	163			29
	農	40	40			13
	環 境	2	2			0
	情 報	0				0
	創 薬	1	1			2
皮 膚	その他	5	5			1
	理	80	80			27
	医	2	2			0
	保 健	7	7			0
	工	163	162	1		29
	農	40	40			13
	環 境	2	2			0
	情 報	0				0
歯	創 薬	1	1			2
	その他	5	5			1
	理	14	14			3
	医	0				0
	保 健	0				0
	工	47	47			9
	農	7	7			2
	環 境	0				0
眼	情 報	0				0
	創 薬	0				0
	その他	0				1
	合計	68	68	0	0	15
	理	1	1			0
	医	0				0
	保 健	0				0
	工	0				0
農	0				0	
血 液	環 境	0				0
	情 報	0				0
	創 薬	0				0
	その他	0				0
	合計	1	1	0	0	0
	理	55	47	8		13
	医	0				0
	保 健	2	2			0
液	工	95	90	5		13
	農	28	27	1		6
	環 境	1	1			0
	情 報	0				0
	創 薬	1	1			2
	その他	1	1			0
	合計	183	169	14	0	34

有害化学物質取扱状況調査（学生）

所属	[学部名]
学年	1年生
学生番号	99999999
フリガナ	[セイ] [メイ]
氏名	[姓] [テスト]
電話又は内線番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

定期健康診断受診状況

○受診

○未受診

1. 取り扱っている物質の中で取り扱い回数が週1回（年間50日）以上の物質項目には○を、それ以下の取り扱い回数の物質項目には○を選択してください。取り扱いのない物質項目には空欄のままにしてください。

有機 [-]

- 1 アセトン
- 2 イソブチルアルコール
- 3 イソプロピルアルコール
- 4 イソペンチルアルコール
- 5 エチルエーテル
- 6 エチレングリコールモノエチルエーテル
- 7 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート
- 8 エチレングリコールモノブチルエーテル
- 9 エチレングリコールモノメチルエーテル

その他：上記項目以外で使用した物質等がありましたら下記に物質名を記入し、○又は○を選択してください。 [-]

2. 昨年度の特健康診断（有害）の結果について選択してください。

○異常なし

○所見あり

○受けていない

登録

戻る

学生特殊健康診断(有害)受検票

所属	[学部名]
学年	1年生
学生番号	9999999983
フリガナ	[セイ] [メイ]
氏名	[姓] [テスト]
電話又は内線番号	0000000000
メールアドレス	test@test.co.jp

定期健康診断受診状況 未受診

<本人記入欄>

I. 有害化学物質を使用した実験・研究中に何らかの体調の変化を感じることがありますか

なし

あり

ありにチェックをつけた場合、具体的に症状を記入してください。(例：頭痛、吐き気、腹痛、動悸、めまい、不眠等)

II. 有害化学物質を使用する実験・研究時の状況について

1. 実験着・手袋を使用していますか

常に使用

ときどき使用

使用しない

2. 安全メガネを使用していますか

常に使用

ときどき使用

使用しない

3. 換気をしていますか

常に使用

ときどき使用

使用しない

登録

年度 学生特殊健康診断（有害）受検票

血液受付 No. _____

学生番号	
氏名	
電話又は内線番号	

健診日程・場所・持参物は
各学部の提示・保健管理室
HPで確認ください

〈本人記入欄〉

I.4月に定期健康診断を受けましたか 受診、未受診

II.有害化学物質を使用した実験・研究中に何らかの体調の変化を感じることがありますか？

あり、なし

III.有害化学物質を使用する実験・研究時の状況について

- ① 実験着・手袋を使用していますか 常に使用している、時々使用している、使用していない
- ② 安全メガネを使用していますか 常に使用している、時々使用している、使用していない
- ③ 換気をしていますか 常に使用している、時々使用している、使用していない

IV.昨年度の特健康診断（有害）の結果 異常なし、所見あり、受けていない

〈保健管理室記入欄〉

健康診断結果

*対象者：内科的検査・皮膚科検査→全員

眼科・血液→取り扱い物質により検査が必要な学生[●]

<p>[●] 内科的検査 【歯科】</p> <p>神経症状・歯の変色等</p> <p><input type="checkbox"/> 異常なし</p> <p>所見あり {</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 毎年検査を受けてください <input type="checkbox"/> 健康相談を受けてください <input type="checkbox"/> 神経内科を受診してください <input type="checkbox"/> 歯科を受診してください <p style="text-align: right;">(印)</p>	<p>[●] 眼科検査</p> <p>眼底検査</p> <p><input type="checkbox"/> 異常なし</p> <p>所見あり {</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 毎年検査を受けてください <input type="checkbox"/> 健康相談を受けてください <input type="checkbox"/> 眼科を受診してください <p style="text-align: right;">(印)</p>
<p>[●] 皮膚科検査</p> <p>皮膚の炎症・潰瘍・色素沈着発赤・乾燥縦じわ、爪の異常、皮膚の黒変等</p> <p><input type="checkbox"/> 異常なし</p> <p>所見あり {</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 毎年検査を受けてください <input type="checkbox"/> 健康相談を受けてください <input type="checkbox"/> 皮膚科を受診してください <p style="text-align: right;">(印)</p>	<p>血液検査</p> <p>(●) 貧血検査</p> <p>(●) 肝機能検査</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">結果は別紙</div>

保健管理室長 (印)

3. 職員の健康診断

1) 一般定期健康診断

職員の健康診断は職員課福祉係（掛名称変更）が計画を立案、統括している。

定期健康診断の実施状況、実施要項は別表の通りである。一部の項目で二次健診（精密検査）も実施している。必要に応じて外部機関への受診をすすめ、紹介等を行っている。

職員一般定期健康診断実施状況

検査項目	対象人員	実施時期
胸部 X 線 直接撮影検査	約 6,800人	6月・12月
尿 検 査	約 7,400	6月・12月
血 圧 検 査	約 7,400	6月・12月
肝 臓 機 能 検 査	約 4,200	6月・12月
脂 質 検 査		
貧 血 検 査		
糖 質 検 査		
心 電 図 検 査		
腹 囲 測 定		6月・12月
聴 力 検 査 (1000 / 4000Hz)	約 3,500	6月・12月

() 書きは6月受診できなかった者

職員一般定期健康診断実施要項

検査項目	実施回数	対象者
尿 検 査	年1回	全職員 ただし、胸部X線検査においてD-2以上の判定を受けた場合、年2回とする
胸部 X 線 直接撮影検査		
血 圧 検 査		
身長体重・視力検査		
肝 臓 機 能 検 査	年1回	35歳及び40歳以上の職員
脂 質 検 査		
貧 血 検 査		
糖 質 検 査		
心 電 図 検 査	年1回	35歳・40歳および45歳以上の職員
腹 囲 測 定		
聴 力 検 査 (1000 / 4000Hz)		

職員がん検診実施要項

検査項目	実施時期	対象者（本年度末年齢）
胃の X 線 直接撮影検査	9月・10月	40歳以上の職員で受検を希望する者
乳 が ん 検 査	11月・12月	40歳以上の女性職員で受検を希望する者
大腸がん検診（便潜血反応検査）	6月・12月	40歳以上の職員で受検を希望する者

2022年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果

No.	部 局 名	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率	備 考
1	東海国立大学機構	5	5	0	100.0%	
2	(機構)事務局	3	1	2	33.3%	
3	(機構)総務部	150	137	13	91.3%	
4	(機構)経営企画部	16	16	0	100.0%	
5	(機構)財務部	153	142	11	92.8%	
6	(機構)教育戦略部	1	1	0	100.0%	
7	教育推進部	120	111	9	92.5%	
8	(機構)研究戦略部	21	20	1	95.2%	
9	研究協力部	90	81	9	90.0%	
10	(機構)施設統括部	85	79	6	92.9%	
11	(機構)情報環境部	38	36	2	94.7%	
12	(機構)監査室	5	4	1	80.0%	
13	Development Office	9	9	0	100.0%	
14	学術研究・産学官連携推進本部	51	47	4	92.2%	
15	国際本部	34	28	6	82.4%	
16	情報連携推進本部	4	3	1	75.0%	
17	環境安全衛生推進本部	7	7	0	100.0%	
18	教育基盤連携本部	11	9	2	81.8%	
19	附属図書館	85	84	1	98.8%	
20	学生支援本部	18	14	4	77.8%	
21	施設・環境計画推進室	3	3	0	100.0%	
22	核燃料管理施設	1	1	0	100.0%	
23	ハラスメント相談センター	5	5	0	100.0%	
24	災害対策室	2	2	0	100.0%	
25	PhD登龍門推進室	1	1	0	100.0%	
26	動物実験支援センター	7	7	0	100.0%	
27	大学院人文学研究科	101	70	31	69.3%	
28	大学院教育発達科学研究科	34	28	6	82.4%	
29	大学院法学研究科	71	47	24	66.2%	
30	大学院経済学研究科	37	29	8	78.4%	
31	文系事務部	78	68	10	87.2%	
32	大学院情報学研究科	147	123	24	83.7%	
33	大学院理学研究科	278	256	22	92.1%	
34	大学院医学系研究科(医学)	446	425	21	95.3%	
35	大学院医学系研究科(保健)	70	67	3	95.7%	
36	大学院工学研究科	511	465	46	91.0%	
37	大学院生命農学研究科	178	160	18	89.9%	
38	大学院国際開発研究科	25	15	10	60.0%	
39	大学院多元数理科学研究科	63	49	14	77.8%	
40	大学院環境科学研究科	142	110	32	77.5%	
41	大学院創薬科学研究科	30	29	1	96.7%	
42	教養教育院	24	24	0	100.0%	
43	博士課程教育推進機構	3	2	1	66.7%	
44	アジアサテライトキャンパス学院	8	6	2	75.0%	
45	環境医学研究所	55	54	1	98.2%	
46	未来材料・システム研究所	146	134	12	91.8%	
47	宇宙地球環境研究所	95	90	5	94.7%	
48	研究所事務部	23	22	1	95.7%	
49	医学部附属病院	2,364	2,299	65	97.3%	
50	教育学部附属中学校・高等学校	35	35	0	100.0%	
51	アイソトープ総合センター	7	7	0	100.0%	
52	遺伝子実験施設	12	12	0	100.0%	
53	物質科学国際研究センター	9	9	0	100.0%	
54	農学国際教育研究センター	8	6	2	75.0%	
55	博物館	9	8	1	88.9%	
56	心の発達支援研究実践センター	9	7	2	77.8%	
57	法政国際教育協力研究センター	2	0	2	0.0%	
58	生物機能開発利用研究センター	22	19	3	86.4%	
59	シンクロtron光研究センター	13	13	0	100.0%	
60	減災連携研究センター	30	25	5	83.3%	
61	細胞生理学研究センター	5	5	0	100.0%	
62	脳とこころの研究センター	6	6	0	100.0%	
63	ナショナルコンポジットセンター	12	10	2	83.3%	
64	ジェンダーダイバーシティセンター	8	7	1	87.5%	
65	低温プラズマ科学研究センター	34	30	4	88.2%	
66	数理・データ科学教育研究センター	4	3	1	75.0%	
67	糖鎖生命コア研究所	6	5	1	83.3%	
68	情報基盤センター	15	15	0	100.0%	
69	総合保健体育科学センター	35	34	1	97.1%	
70	高等研究院	4	3	1	75.0%	
71	トランスフォーメティブ生命分子研究所	62	57	5	91.9%	
72	素粒子宇宙起源研究所	18	15	3	83.3%	
73	未来社会創造機構	118	94	24	79.7%	
74	アジア共創教育研究機構	6	3	3	50.0%	
75	日本法教育研究センター	5	3	2	60.0%	
76	イノベーション戦略室	2	2	0	100.0%	
	計	6,350	5,858	492	92.3%	
	内数：人間ドック受検者		740			

対象：常勤及び20時間以上の非常勤（育休等は除く）

2022年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（胸部X線直接撮影）

	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
	東 山 地 区	4,775	2,419	2,356	50.7%	16	25	
	鶴 舞 地 区	3,553	2,730	823	76.8%	15	14	
	大 幸 地 区 他	134	78	56	58.2%	0	0	
	小 計	8,462	5,227	3,235	61.8%	31	39	
	経過確認者（他機関含む）		16				15	
	人間ドック受検者		740					
	合 計	8,462	5,983	2,479	70.7%	31	54	

対象者には特殊健康診断指示の者も含まれる

2022年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（尿：蛋白・糖・潜血）

回	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
1	東 山 地 区	3,713	2,295	1,418	61.8%	157	0	
	鶴 舞 地 区	3,544	3,014	530	85.0%	167	0	
	大 幸 地 区 他	114	78	36	68.4%	7	0	
	小 計	7,371	5,387	1,984	73.1%	331	0	
2 ※1	東 山 地 区 等	2,044	1,037	1,007	50.7%	92	0	
	鶴 舞 地 区 等	2,906	2,285	621	78.6%	186	0	
	大 幸 地 区 他	53	33	20	62.3%	1	0	
	小 計	5,003	3,355	1,648	67.1%	279	0	
	人間ドック受検者		740					
	合 計	12,374	9,482	2,892	76.6%	610	0	

※1 対象者は特定対象者及び定期健康診断未受検だった者を含む

2022年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（血圧検査）

回	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
1	東 山 地 区	3,713	2,300	1,413	61.9%	45	280	
	鶴 舞 地 区	3,544	3,052	492	86.1%	23	338	
	大 幸 地 区 他	114	78	36	68.4%	1	7	
	小 計	7,371	5,430	1,941	73.7%	69	625	
2 ※2	東 山 地 区 等	2,044	1,042	1,002	51.0%	33	203	
	鶴 舞 地 区 等	2,906	2,321	585	79.9%	13	243	
	大 幸 地 区 他	53	33	20	62.3%	2	6	
	小 計	5,003	3,396	1,607	67.9%	48	452	
	人間ドック受検者		740					
	合 計	12,374	9,566	2,808	77.3%	117	1,077	

※2 対象者は特定対象者及び定期健康診断未受検だった者を含む

2022年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（血液検査）

	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
	東 山 地 区	4,310	2,009	2,301	46.6%	41	67	
	鶴 舞 地 区	3,889	3,063	826	78.8%	65	108	
	大 幸 地 区 他	119	63	56	52.9%	0	2	
	小 計	8,318	5,135	3,183	61.7%	106	177	
	人間ドック受検者		740					

特定対象者を名大オリジナルで実施している

2022年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（心電図検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
東 山 地 区	3,669	1,831	1,838	49.9%	59	113	
鶴 舞 地 区	1,639	1,368	271	83.5%	34	33	
大 幸 地 区 他	87	60	27	69.0%	2	5	
小 計	5,395	3,259	2,136	60.4%	95	151	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		740					

2022年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（聴力：オーディオ検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
東 山 地 区	3,150	195	2,955	6.2%	0	23	
鶴 舞 地 区	1,288	106	1,182	8.2%	0	10	
大 幸 地 区 他	72	7	65	9.7%	0	2	
小 計	4,510	308	4,202	6.8%	0	35	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		740					

感染対策のため希望したもののみ受診した

2022年度 職員がん検診

検 査 名	対象者数	要精検	要観察	備 考
胃 の 検 査	293	4	0	
乳がん検査（マンモグラフィ）	368	24	0	
便潜血反応検査	615	29	0	

※乳がん（希望者が少ないため 年齢をなくし再募集した）

2) 特殊健康診断

本健診の実施計画およびその結果を表に示した。(表5、表6)

職員特殊健康診断実施要項

検 査 項 目	実 施 時 期
血 液 検 査 (R I 従 事 者)	7 月・12 月 ※
血 液 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7 月・12 月
皮 膚 検 査 (R I 従 事 者)	7 月・12 月 ※
皮 膚 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7 月・12 月
眼 の 検 査 (R I 従 事 者)	7 月・12 月 ※
眼 の 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7 月・12 月
口 腔 検 査	7 月・12 月
血 圧 検 査	7 月・12 月
尿 検 査	7 月・12 月
胸 部 X 線 直 接 撮 影 検 査	7 月・1 月
聴 力 及 び 平 衡 機 能 等 検 査	6 月・11 月
整 形 外 科 系 検 査 (上 肢・肩・背 部 等)	3 月
心 肺 機 能 検 査	6 月・11 月

※新規対象者は学生検査日の5月・10月も受診可能

2022年度 職員特殊健康診断実施結果 (特定有害業務：R Iを除く)

検 査 項 目	回 数	対 象 者 数	受 検 者 数	受 検 率	備 考
心 肺 機 能 検 査	1	31	16	51.6%	
	2	34	20	58.8%	
耳 鼻 科 系 検 査	1	44	23	52.3%	
	2	48	27	56.3%	
眼 の 検 査	1	28	9	32.1%	
	2	27	12	44.4%	
口 ぐ っ 検 査	1	463	282	60.9%	
	2	472	253	53.6%	
皮 膚 検 査	1	478	289	60.5%	
	2	481	257	53.4%	
血 液 検 査 尿 検 査	1 2	一般(特定)検査に含まれる			
胸 部 X 線 撮 影	1	109	70	64.2%	
	2	57	39	68.4%	
整 形 外 科 系 検 査	1	1,350	1,077	79.8%	

2022年度 職員特殊健康診断実施結果（放射線（R I）業務）

検査項目	回数	対象者数	省略者数	受検者数	備考
血液検査	1	1,745	1,512	204	
	2	1,712	1,635	59	
皮膚検査	1	1,745	1,493	168	
	2	1,712	1,587	56	
眼の検査	1	1,745	1,484	178	
	2	1,712	1,568	65	

（3）保健指導

事業主健診（一般定期健康診断）のデータを各健康保険組合等（常勤職員は文部科学省共済組合、非常勤職員は協会けんぽ愛知支部）の委託先に提供し、40歳以上で特定保健指導の対象者（いわゆるメタボ）には、委託先から特定保健指導利用券が郵送されている。

保健管理室では、35歳の職員の中でメタボ予備軍に該当した方々に対して、健康管理に関するアンケートとともに保健指導の案内を送付した。希望者に対して、保健師が、1人20分程の時間をかけて体組成の測定、食事指導、ライフレコーダのデータをもとにした運動指導などを行った。

2022年度 職員保健指導対象者状況

項目		1回目	2回目
保健指導 区分	積極的支援	139	32
	動機付け支援	244	42
	支援なし（治療中など）	2,261	248
判定不能（ドック予定者・項目不足）		126	23
対象外（40歳未満）		212	44
保健指導 区分 （35歳）	積極的支援	13	7
	動機付け支援	0	1
	支援なし（治療中など）	161	17
実施数（35～39歳：5年間の経過観察総数）			5

（4）ストレスチェック

職員に対し、WEBにてストレスチェックを実施した。（一部職員は産業医の下、実施）対象は、常勤職員、非常勤職員（契約職員、パートタイム勤務職員【週勤務時間数20時間以上】）面接実施者の面談は、本学の産業医（内科、精神科医）にて実施した。

2022年度 ストレスチェック実施状況

	対象者	受検者	未受検	高ストレス者	面接実施者	受診率
東山	3,786	1,485	2,301	126	26	39.2%
鶴舞	3,175	1,573	1,602	139	12	49.5%
大幸	106	40	66	7	0	37.7%
合計	7,067	3,098	3,969	272	38	43.8%

表 5

特定有害業務等従事状況届出票（新規雇用者）

所属				
職員番号				
氏名	殿			
提出年月日	週勤務時間数	生年月日	管理部人事労務課福祉	
採用年月日	性別	職種		

本年度の特殊健康診断等の受診対象者を確認するため、次に掲げる業務に常時従事する場合には、○を付して所属部局の人事担当係に提出してください。

※ となっている業務（石綿、ベンゼンなど）について現在には使用していないが過去に取扱っていた場合には、△を付してください。

となっている業務を過去に取り扱っていた場合は、特殊健康診断の対象となります。

特定	ヲ	有害物のガス[ホルムアルデヒド、エチレンオキシド]	鉛	05	鉛合金の製品を製造、修理、解体する工程の業務
特定	イ	高熱物体および、暑熱な場所における業務	鉛	06	鉛化合物を製造する工程における業務
特定	ヌ	深夜業を含む業務	鉛	07	鉛ライニングの業務[仕上げの業務を含む]
特定	ロ	低温物質および、寒冷な場所における業務	鉛	08	含鉛塗料を塗布した物の加工又はかき落しの業務
特定	リ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務	鉛	09	鉛装置の内部における業務
給食	01	調理、配膳等給食のため食品を取り扱う業務	鉛	10	鉛装置の破砕、溶接、溶断又は切断の業務
有機	01	アセトン	鉛	11	転写紙を製造する工程における鉛等の粉吹いの業務
有機	02	イソブチルアルコール	鉛	12	合成樹脂等の製品を製造する工程における業務
有機	03	イソプロピルアルコール	鉛	13	自然換気が不十分な場所におけるはんだ付けの業務
有機	04	イソペンチルアルコール	鉛	14	鉛化合物を含有する軸葉の焼成の業務
有機	05	エチルエーテル	鉛	15	鉛化合物を含有する絵具の焼成の業務
有機	06	エチレングリコールモノエチルエーテル	鉛	16	溶融した鉛を用いて行なう業務
有機	07	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	鉛	17	動力を用いて印刷する工程における業務
有機	08	エチレングリコールモノブチルエーテル	鉛	18	前各号に掲げる業務を行なう作業場所清掃の業務
有機	09	エチレングリコールモノメチルエーテル	電離	10	医療用のX線装置
有機	10	オルト-ジクロロベンゼン	電離	11	工業用等のX線装置で撮影用のもの
有機	11	キシレン	電離	12	工業用等のX線装置で透視用のもの
有機	12	クレゾール	電離	13	工業用等のX線装置で分析用のもの
有機	13	クロロベンゼン	電離	14	工業用等のX線装置でその他のもの
有機	15	酢酸イソブチル	電離	15	荷電粒子を加速する装置
有機	16	酢酸イソプロピル	電離	16	製造工程中のX線管
有機	17	酢酸イソペンチル	電離	17	製造工程中のケトロン
有機	18	酢酸エチル	電離	18	医療用のガンマ線照射装置
有機	19	酢酸ノルマルブチル	電離	19	工業用等のガンマ線照射装置
有機	20	酢酸ノルマルプロピル	電離	20	ガンマ線照射装置以外の放射性物質を装備している機器
有機	21	酢酸ノルマルベンチル	電離	21	放射性物質
有機	22	酢酸メチル	電離	22	原子炉
有機	24	シクロヘキサノール	電離	23	坑内におけるラドンガス
有機	25	シクロヘキサノン	特化	002	ベンジジン及びその塩
有機	28	1, 2-ジクロロエチレン	特化	003	四-アミノジフェニル及びその塩
有機	30	N, N-ジメチルホルムアミド	特化	004	四-ニトロジフェニル及びその塩
有機	34	テトラヒドロフラン	特化	005	ビス[クロロメチル]エーテル
有機	35	1, 1, 1-トリクロロエタン	特化	006	ペーターナフチルアミン及びその塩
有機	37	トルエン	特化	101	ジクロロベンジジン及びその塩
有機	38	二硫化炭素	特化	102	アルファーナフチルアミン及びその塩
有機	39	ノルマルヘキサン	特化	103	塩素化ビフェニル[PCB]
有機	40	1-ブタノール	特化	104	オルトトリジン及びその塩
有機	41	2-ブタノール	特化	105	ジアニシジン及びその塩
有機	42	メタノール	特化	106	ベリウム及びその化合物
有機	44	メチルエチルケトン	特化	107	ペンブトリクロリド
有機	45	メチルシクロヘキサノール	特化	201	アクリルアミド
有機	46	メチルシクロヘキサノン	特化	202	アクリロニトリル
有機	47	メチルブチルケトン	特化	203	アルキル水銀化合物
有機	48	ガソリン	特化	205	エチレンイミン
有機	49	コールタールナフサ[ソルベントナフサを含む]	特化	206	塩化ビニル
有機	50	石油エーテル	特化	207	塩素
有機	51	石油ナフサ	特化	208	オーラミン
有機	52	石油ベンジン	特化	209	オルト-フタロジニトリル
有機	53	テレピン油	特化	210	カドミウム及びその化合物
有機	54	ミネラルスピリット	特化	211	クロム酸及びその塩
有機	55	前各号に掲げる物のみから成る混合物	特化	212	クロロメチルメチルエーテル
鉛	01	鉛の製練又は精練を行う工程における業務	特化	213	五酸化バナジウム
鉛	02	銅又は亜鉛の製練又は精練を行う工程における業務	特化	214	コールタール
鉛	03	鉛蓄電池の部品を製造、修理、又は解体する工程の業務	特化	216	シアン化カリウム
鉛	04	電線又はケーブルを製造する工程における業務	特化	217	シアン化水素

* 該当がない場合は提出する必要はありません。

* 裏面についても確認願います。

表 5

特定有害業務等従事状況届出票（新規雇用者）

所属				
職員番号				
氏名	殿			
提出年月日	週勤務時間数	生年月日	管理部人事労務課福祉	
採用年月日	性別	職種		

本年度の特殊健康診断等の受診対象者を確認するため、次に掲げる業務に常時従事する場合には、○を付して所属部局の人事担当係に提出してください。

※ となっている業務(石綿、ベンゼンなど)について現在は使用していないが過去に取扱っていた場合には、△を付してください。

となっている業務を過去に取り扱っていた場合は、特殊健康診断の対象となります。

特化	218	シアン化ナトリウム	歯科	4	亜硫酸
特化	219	3・3'ジクロロ-4・4'ジアミノジフェニルメタン	歯科	5	弗化水素
特化	220	臭化メチル	歯科	6	黄磷
特化	221	重クロム酸及びその塩	歯科	7	その他歯又は指示組織に有害な物
特化	222	水銀及びその無機化合物	じん肺	010	土石、岩石又は鉱物を掘削する場所における作業
特化	223	トリレンジイソシアネート	じん肺	020	鉱物等を積載した車の荷台をくつがえしたりする作業
特化	224	ニッケルカルボニル	じん肺	030	鉱物等の分類や積み込み等の作業
特化	225	ニトログリコール	じん肺	040	坑内において鉱物等を運搬する作業
特化	226	パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン	じん肺	050	鉱物等を充てん、又は岩粉を散布する場所での作業
特化	227	パラ-ニトロクロルベンゼン	じん肺	052	粉じんが付着した機械設備を移設、撤去、点検作業
特化	228	弗化水素	じん肺	060	岩石又は鉱物を裁断する場所における作業
特化	229	ペータ-プロピオラクトン	じん肺	070	研磨材を吹き付けたりして研磨する作業
特化	230	ベンゼン	じん肺	080	鉱物等を主成分とする原料を動力により破碎する作業
特化	231	ペンタクロルフェノール及びそのナトリウム塩	じん肺	090	セメント等を袋詰めし、積みおろす場所における作業
特化	232	マゼンタ	じん肺	100	粉状のアルミニウム又は酸化チタンを袋詰めする作業
特化	233	マンガン及びその化合物	じん肺	110	粉状の鉱石等を材料として製造する工程における作業
特化	234	沃化メチル	じん肺	120	ガラス又はほうろうを製造する工程における作業
特化	235	硫化水素	じん肺	130	陶磁器等を製造する際の原材料を混合する工程の作業
特化	236	硫酸ジメチル	じん肺	140	炭素製品を製造する工程における作業
特化	237	ニッケル化合物[ニッケルカルボニルを除く]	じん肺	150	砂型を用いて鋳物を鋳造する工程における作業
特化	238	砒素及びその化合物[アルシン及び砒素ガリウム除く]	じん肺	160	鉱物等運搬する船舶の船倉内で鉱物等をかき集める作業
特化	239	酸化プロピレン	じん肺	170	金属その他無機物を製錬し、溶融する工程における作業
特化	240	1・1-ジメチルヒドラジン	じん肺	180	粉状の鉱物を燃焼する工程における作業
特化	241	インジウム化合物	じん肺	190	耐火物を用いてかま、炉等を築造、破碎等する作業
特化	242	屋内塗装業務でエチルベンゼンを取り扱う業務	じん肺	200	タンク内等でのアーク溶接、又はガウジングする作業
特化	243	コバルト及びその無機化合物	じん肺	210	金属を溶射する場所における作業
特化	244	ジクロロプロパン洗浄・払拭作業	じん肺	220	染土の付着したい草を製織したりする場所における作業
特化	245	クロロホルム	じん肺	230	長大ずい道内部のホッパー等の近くの場所における作業
特化	246	四塩化炭素	じん肺	240	石綿[直接ときほぐす、吹き付ける等の作業]
特化	247	1, 4-ジオキサソ	石綿	01	アモサイト
特化	248	1, 2-ジクロルエタン	石綿	02	クロシドライト
特化	249	ジクロルメタン	石綿	10	石綿[アモサイト及びクロシドライトを除く]
特化	251	スチレン	石綿	20	石綿[粉じん発散場所での業務。前各号を除く。]
特化	252	1・1・2・2-テトラクロルエタン	その他	01	紫外線・赤外線にさらされる業務
特化	253	テトラクロルエチレン	その他	02	著しい騒音を発生する屋内作業場などにおける騒音作業
特化	254	トリクロルエチレン	その他	16	超音波接着機を取扱う業務
特化	255	メチルイソブチルケトン	その他	20	キーパンチャーの業務
特化	256	ナフタレン	その他	23	チェーンソー使用による身体に著しい振動を与える業務
特化	257	リフラクトリーセラミックファイバー	その他	24	チェーンソー以外の振動工具の取扱いの業務
特化	258	オルト-トルイジン	その他	25	重量物取扱作業、介護作業等腰部に著しい負担の作業
特化	259	ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト(DDVP)	その他	29	VDT作業(週15時間以上従事又は自覚症状がある者)
特化	260	溶接ヒューム			
高気圧	10	高圧室内業務			
高気圧	20	潜水業務			
四アルキル	01	四アルキル鉛を製造する業務			
四アルキル	02	四アルキル鉛をガソリンに混入する業務			
四アルキル	03	前2号に掲げる業務に用いる機械の業務			
四アルキル	04	四アルキル鉛により汚染されているタンクの内部の業務			
四アルキル	05	四アルキル鉛等を含有する残さい物を取り扱う業務			
四アルキル	06	四アルキル鉛が入っているドラム缶を取り扱う業務			
四アルキル	07	四アルキル鉛を用いて研究を行う業務			
四アルキル	08	四アルキル鉛の汚染を除去する業務			
歯科	1	塩酸			
歯科	2	硝酸			
歯科	3	硫酸			

* 該当がない場合は提出する必要はありません。

* 裏面についても確認願います。

放射線を取り扱う職員の特殊健康診断実施要領

実施方法

- 1 新規従事者 ・初めて放射線業務を行う者をいう。
・従事前の健康診断については、全項目（問診（放射線業務従事者特殊健康診断問診票（以下「問診票」という））、血液検査、皮膚検査、白内障に関する眼の検査）の健康診断を実施する。その後の健康診断は、継続従事者に準じて実施する。
- 2 継続従事者 ・継続して放射線業務を行う者をいう。
放射線業務あるいは従事者登録に期間のブランクがある者（過去にRIを取り扱ったが、海外渡航、病気等により放射線業務に中断期間がある者等）も含む。
・健康診断の実施については、各部局の衛生管理担当者から配付された「問診票」により、次のとおり実施する。
 - ①前年度の実効線量が、5ミリシーベルトを超えた従事者、又は、当該年度（RI特殊健康診断を行おうとする日の属する年度）の実効線量が、5ミリシーベルトを超えるおそれがある従事者に対して、各検査実施時に受検させる。ただし、保健管理室長が各検査実施時に受検を必要でないと認めるときは、省略できる。
 - ②前年度の実効線量が、5ミリシーベルトを超えず、かつ、当該年度（RI特殊健康診断を行おうとする日の属する年度）の実効線量が、5ミリシーベルトを超えるおそれのない従事者に対して、各検査実施時の受検を省略することとする。ただし、前記にかかわらず保健管理室長が各検査実施時に受検を必要と認めるときは、受検する。

注意

全職員対象の一般健康診断（定期）に関しては省略できないため、必ず年1回受診する。

また、特定業務従事者の健康診断についても年2回受診する。〔実施時期は一般健康診断（定期）と同時期〕検査省略判定を受けた者に対しては、血液・皮膚・眼の検査の通知はしない。検査を希望する者は、実施時期に申し出ること。

参考

電離放射線障害防止規則

第56条 事業者は、放射線業務に常時従事する労働者で管理区域に立ち入るものに対し、雇入れ又は当該業務に配置替えの際及びその後6月以内ごとに1回、定期に、次の項目について医師による健康診断を行わなければならない。

- 一 被ばく歴の有無の調査及びその評価
 - 二 白血球数及び白血球百分率の検査
 - 三 赤血球数の検査及び血色素量又はヘマトクリット値の検査
 - 四 白内障に関する眼の検査
 - 五 皮膚の検査
- 2 (略)
 - 3 第1項の健康診断のうち、定期に行わなければならないものについては、医師が必要でないと認めるときは、同項第二号から第五号までに掲げる項目の全部又は一部を省略することができる。
 - 4 第1項の規定にかかわらず、同項の健康診断を行おうとする日の属する年の前年一年間に受けた実効線量が5ミリシーベルトを超えず、かつ、当該健康診断を行おうとする日の属する一年間に受ける実効線量が5ミリシーベルトを超えるおそれのない者に対する当該健康診断については、同項第二号から第五号までに掲げる項目は、医師が必要と認めないときには、行うことを要しない。
 - 5 (略)

健康診断の流れ【職員】

- 1 初めて放射線業務を行う予定の者、放射線業務に従事している者は、3月上旬に調査される特定有害業務等
従事状況届出票（別紙）の放射線業務欄（電離10～23）に記入しておく。
管理部人事労務課は、特定有害業務等従事状況届出票により放射線業務従事者に対して、「問診票」を各部
局の衛生管理担当者を通して配付する。【4月下旬～5月初旬】【10月上旬～10月中旬】
- ↓
- 2 放射線業務従事者は、配付された「問診票」に記入の上、各部局の衛生管理担当者へ送付する。各部局の担
当者は、「問診票」に放射線取扱主任者による被ばく歴評価（押印）後、管理部人事労務課へ報告する。（た
だし、初めて放射線業務に従事する新規従事者は放射線取扱主任者の確認を必要としない。）
【5月中旬】【10月中旬】
- ↓
- 3 各部局の衛生管理担当者は、記載事項を確認のうえ「問診票」を管理部人事労務課まで送付する。
【5月中旬】【10月下旬】
- ↓
- 4 管理部人事労務課は「問診票」の判定を保健管理室長に依頼し、その判定結果を各部局の衛生管理担当者
に通知し、同「問診票」を、各部局の衛生管理担当者又はRI管理室が保管するとともに、衛生管理担当者は
「問診票」の（写）を本人に送付する。【6月】【11月】
- ↓
- 5 健康診断実施通知書を配付する。【6月中旬】【11月中旬】
- ↓
- 6 検査（血液、皮膚、眼、定期健康診断）の実施【6月下旬～7月初旬】【12月初旬～12月中旬】

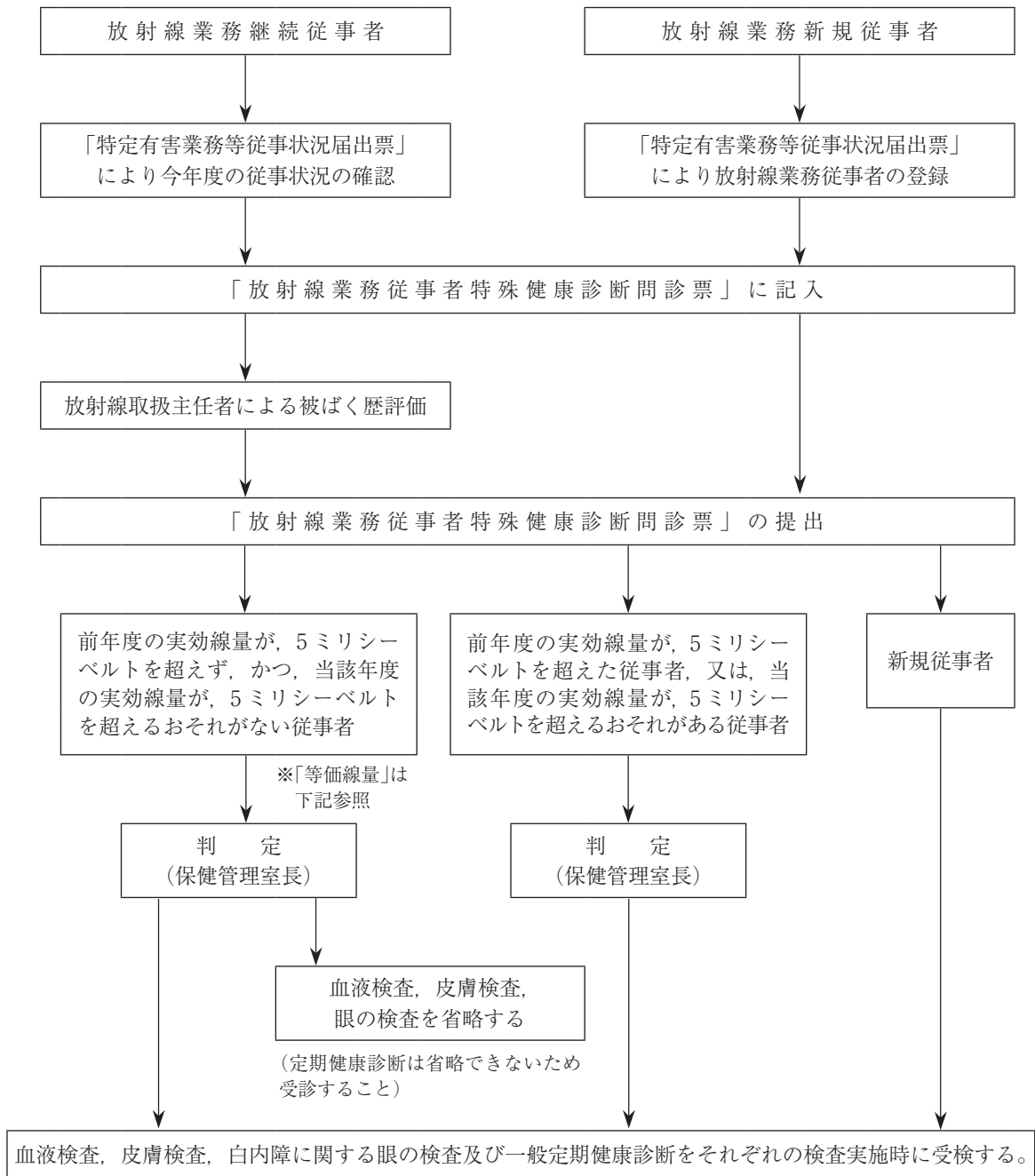
注意

初めて放射線業務を行う者は、上の流れで健康診断を受けるのが本来であるが、下の場合等急ぎ健康診断を受
ける必要がある場合は、「放射線を取り扱う学生の特殊健康診断」実施時に受診が可能である。

- ・5、7月のアイソトープ総合センター主催RI講習受講等で、上の流れでは間に合わない場合
- ・年度途中で健康診断の受診が必要となった場合

ただし、受診の際は職員専用の問診票が必要となる。所属する部局の人事担当係で指定の問診票を受け取り持
参すること。

健康診断の手続きの流れ【職員】



【等価線量】

健康診断省略閾値（しきいち）の目安		
眼の水晶体	皮膚	妊娠中の女子腹部
10mSv/年	250mSv/年	2mSv/妊娠中

表 6

放射線業務従事者特殊健康診断問診票

問診票（職員）

フリガナ		記入年月日	年 月 日
氏名		職員番号	
性別		生年月日	
所属			

★従事者記入欄：太枠内の項目を従事者自身が記入してください。（上記の記入年月日も記入してください。）

<p>A 対象者区分：該当区分にチェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 継続従事者</p> <p>私は以前から本学で放射線業務従事登録をしており、学内または学外で従事しています。</p> <p>→本学で従事歴がなく、本学以外で従事歴がある人は「C」へ。</p> <p>※ 以下の（1）～（3）に回答してください。</p> <p>回答後は、指定日までに所属の事務担当者へ提出してください。</p> <p>(1) 定期健康診断（又は人間ドック）受診状況：</p> <p><input type="checkbox"/> 受診（直近の受診年月： 年 月）</p> <p><input type="checkbox"/> 未受診</p> <p>(2) 業務内容調査： 該当区分にチェック、または必要事項を記入してください</p> <p>① 業務内容変更：当該年度の業務予定は、前年度と比較して変更がありますか？</p> <p><input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり</p> <p>② 業務内容</p> <p><input type="checkbox"/> 非密封RIの取扱い <input type="checkbox"/> 密封RIの取扱い</p> <p><input type="checkbox"/> 放射光施設の利用 <input type="checkbox"/> 加速器施設（放射光施設以外）の利用</p> <p><input type="checkbox"/> エックス線装置の取扱い <input type="checkbox"/> 核燃料物質の取扱い</p> <p><input type="checkbox"/> 管理区域への立ち入り <input type="checkbox"/> その他（具体的に： _____）</p> <p>③ 業務場所</p> <p><input type="checkbox"/> 所属部局内</p> <p><input type="checkbox"/> 大学内（具体的に： _____）</p> <p><input type="checkbox"/> 他の事業所（具体的に： _____）</p> <p>④ 業務期間</p> <p>はじめて放射線業務に従事した時</p> <p>年 月 ～ 本年度 月</p> <p>(3) 自覚症状調査：</p> <p>放射線業務に関連して、身体に関して心配ごとがありましたら記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> なし</p> <p><input type="checkbox"/> あり（具体的に： _____）</p>	<p>C 以下の①～④のいずれかに該当する場合は、特殊健康診断を受診する必要があります。（省略判定不可）</p> <p>① <input type="checkbox"/> FI資格追加取得予定者</p> <p>本学で3種(X線)資格があり、FI資格を追加取得する予定の者</p> <p>※ 以下の（1）（2）に回答し、指定日までに所属の事務担当者へ提出し、指定された日時に特殊健康診断を受検してください。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 本学では新規従事だが、学外で従事歴がある者</p> <p>※ 以下の（1）（2）に回答し、学外従事時の被ばく記録を添えて、指定日までに所属の事務担当者へ提出してください。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 本学で以前従事していたが、5年以上従事がなく再度従事する者</p> <p>※ 以下の（1）（2）に回答し、指定日までに所属の事務担当者へ提出し、指定された日時に特殊健康診断を受検してください。</p> <p>「特定有害業務等従事状況確認票」の提出がまだの場合は、届出が必要です。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 本学で以前従事していたが、5年以上従事がなく今年度も従事する予定がない者</p> <p>● 主任者の判断によっては、管理部人事労務課で従事登録を削除します（※1）</p> <p>(1) 定期健康診断（又は人間ドック）受診状況：</p> <p><input type="checkbox"/> 受診（直近の受診年月： 年 月） <input type="checkbox"/> 未受診</p> <p>(2) 今までの放射線業務について記入してください：</p> <p>作業場所・作業内容（ _____ ）</p> <p>作業期間（ _____ ）</p> <p>放射線障害の有無 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（具体的に： _____）</p> <p>自覚症状の有無 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（具体的に： _____）</p> <p>※事務担当者へ：この太枠内に該当する場合は、主任者記入を経てから、管理部人事労務課へ提出し、医師の判定を受けること。</p>
<p>B <input type="checkbox"/> 新規従事者</p> <p>私は初めて放射線業務に従事予定で、被ばく歴はありません。</p> <p>※ 右の（1）に回答してください。</p> <p>指定日までに所属の事務担当者へ提出し、指定された日時に特殊健康診断を受検してください。（特殊健診の案内通知が後日送付されます）</p> <p>(1) 定期健康診断（又は人間ドック）受診状況：</p> <p><input type="checkbox"/> 受診（直近の受診年月： 年 月）</p> <p><input type="checkbox"/> 未受診</p>	

★主任者記入欄：以下の項目は放射線取扱主任者が記入します。（新規従事者については記入を要しない。）

<被ばく歴調査、被ばく量予測>

過去の被ばく歴： <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	前年度の実効線量： <input type="checkbox"/> 5mSv以下 <input type="checkbox"/> mSv			
	<input type="checkbox"/> 従事していない			
前回の特殊健康診断後に受けた線量	実効線量	等 価 線 量		
	<input type="checkbox"/> 検出限界未満	<input type="checkbox"/> 眼の水晶体	<input type="checkbox"/> 皮膚	<input type="checkbox"/> 女子腹部
	<input type="checkbox"/> mSv	<input type="checkbox"/> 検出限界未満	<input type="checkbox"/> 検出限界未満	<input type="checkbox"/> 検出限界未満
	<input type="checkbox"/> 前回の特殊健康診断以降、従事していない	<input type="checkbox"/> mSv	<input type="checkbox"/> mSv	<input type="checkbox"/> mSv
		<input type="checkbox"/> 5年以上従事していない（※1）		
被ばく歴がある場合記入	被ばく歴の調査及びその評価（作業の場所、内容及び期間、線量、放射線障害の有無、その他放射線による被ばくに関する事項）			
当該年度の被ばく予測： 実効線量が5mSvを超えるおそれが <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある				
上記のとおりであることを認めます。				
令和 年 月 日		放射線取扱主任者 _____ 印		

（※1）5年以上従事していない場合は、管理部人事労務課で従事登録を削除します。 → 削除しました

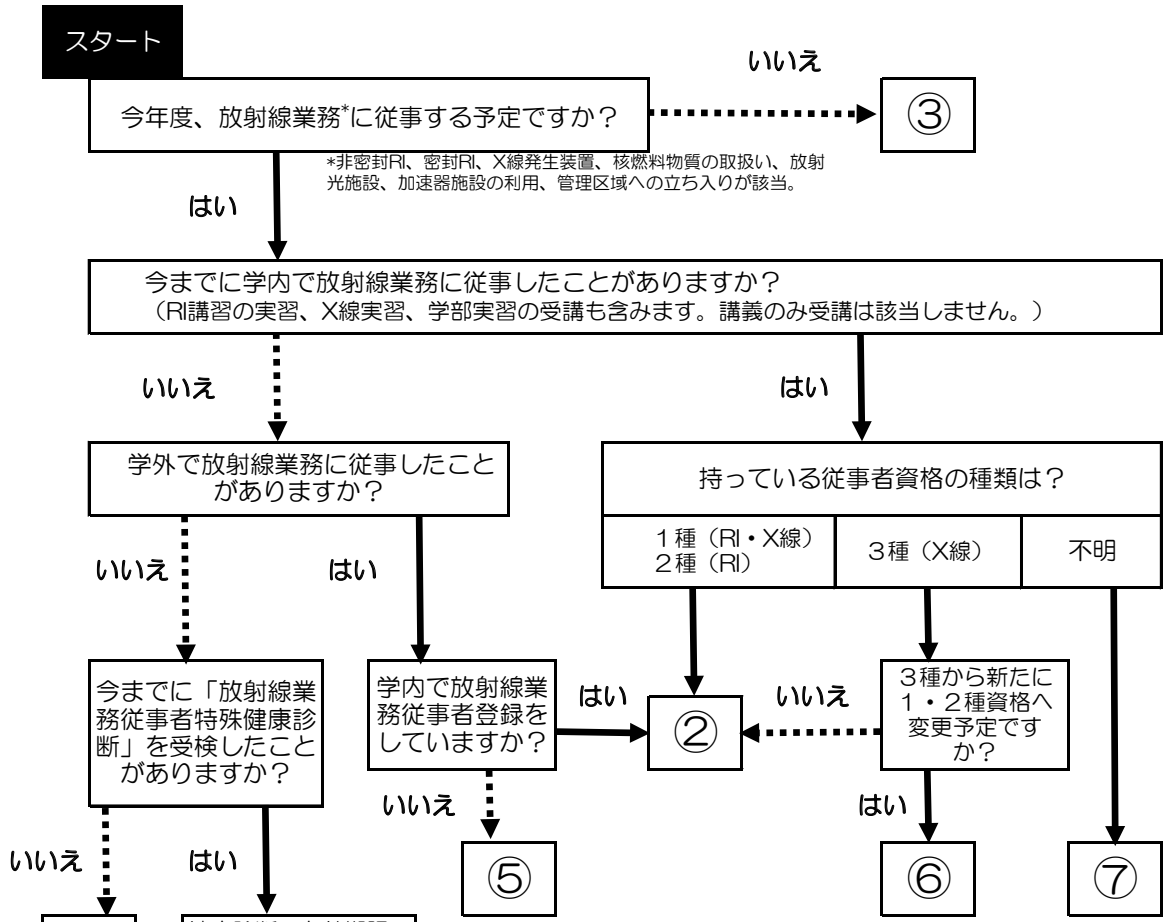
★保健管理室長記入欄：以下の項目は保健管理室長が記入します。

<健康診断の結果及びそれに基づいて講じた措置>

問診項目の結果より、今回の特殊健康診断については以下のように判定する。			
・血液検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・ <input type="checkbox"/> 必要でない	
・皮膚検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・ <input type="checkbox"/> 必要でない	
・眼の検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・ <input type="checkbox"/> 必要でない	
※ 検査が必要であると判断された者に関しては、後日検査通知書を送付します。			
令和 年 月 日		保健管理室長 _____ 印	

放射線業務従事者は安衛則第45条により、特定業務従事者にも該当するため、上記の検査以外にも定期健康診断を受診することが定められています。検査時期になりましたら通知しますので、必ず受診してください。

放射線業務従事者特殊健康診断問診票（問診票）
記入フローチャート（職員）



①	問診票の「B：新規従事者」欄に記入し、指定の日時に特殊健康診断を受検してください。
②	問診票の「A：継続従事者」欄に記入し、指定日までに所属の事務担当者に提出してください。
③	受検不要です。 所属の事務担当者を通して管理部人事労務課で従事者登録の削除を依頼してください。 なお、5年以上従事がない者で従事登録の削除依頼がない場合は、管理部人事労務課で従事者登録を削除します。
④	健康診断の有効期限(6カ月)以内に従事を開始してください。 従事後、問診票の「A：継続従事者」欄に記入し、所属の事務担当者に提出してください。(事務担当者は、主任者記入を経てから、問診票を管理部人事労務課へ提出し、医師の判定を受けてください。)
⑤	問診票の「C：本学では新規従事だが、学外で従事歴がある者」欄に記入し、学外で従事をしたときの被ばく記録を添えて、所属の事務担当者に提出してください。(事務担当者は、主任者記入を経てから、問診票を管理部人事労務課へ提出し、医師の判定を受けてください。)
⑥	問診票の「C：RI資格追加取得予定者」に記入し、所属の事務担当者に提出してください。(事務担当者は、主任者記入を経てから、問診票を管理部人事労務課へ提出し、医師の判定を受けてください。)
⑦	所属部局の担当者、またはアイソトープ総合センター放射線安全管理室にご相談ください。

4. 健康相談と応急処置（学生・職員）

健康相談および応急処置は、身体、精神の2部門に分かれて実施している。精神部門の活動については、次の精神衛生業務で述べ、ここでは、身体健康相談およびその応急処置について記述する。

学生・職員別に、分野別・処置内容別に、月次推移で表に示した。また、東山キャンパスの保健管理室・全学教育棟の保健室および鶴舞キャンパスの保健管理室分室で応急処置を含めた保健業務を行っている。大幸キャンパスの保健管理室大幸分室では応急処置を行っている。

健康相談担当医日割表

	月	火	水	木	金
午前	小池晃彦	石黒洋	山本明子	石黒洋	坂野僚一
午後	小池晃彦	石黒洋	山本明子	坂野僚一	坂野僚一

保健管理室分室（鶴舞）：適宜対応

〔学生、月別〕2022年度 保健管理室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	3	4	13	17	1	3	12	4	6	6	5	2	76
	整形外科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3	0	6
	皮膚科	1	2	0	1	1	0	0	0	1	2	2	1	11
	眼科	2	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	7
	耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦人科	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
	脳神経外科	0	2	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	7
	歯科・口腔外科	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	泌尿器科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	5
	その他	0	0	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0	6
	計	6	9	19	21	4	6	16	7	9	12	12	4	125
与薬	20	33	34	26	24	10	22	27	20	24	23	23	286	
医療機関への紹介	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	5	
診断書	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	
検査	血液	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
	尿	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
	心電図	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	5
	X-P	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	5
	血圧	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
	体重・体脂肪	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	2	0	5
	視力・色覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	聴力(オーディオメーター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
計	0	0	0	3	1	3	5	3	7	2	3	0	27	
処置	創傷処置	3	11	10	3	10	0	9	17	7	1	0	1	72
	湿布	1	1	3	1	0	0	3	4	6	0	0	1	20
	その他	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	4	13	14	4	10	0	12	21	13	1	0	2	94	
窓口相談	76	89	43	102	43	18	30	26	28	37	9	36	537	
メール相談	801	550	385	1,183	828	353	325	531	834	408	63	26	6,287	
休養室	0	0	2	3	0	1	1	0	1	0	0	0	8	
実験用採血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
定期外健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
留学生利用数(Covid19含む)	49	53	70	95	76	40	95	86	79	94	41	20	798	

〔学生、月別〕2022年度 保健室(全学教育棟)利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
窓口相談	身体的相談(内科)	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	5
	身体的相談(外科)	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	身体的相談(その他)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	メンタル的相談	0	2	0	1	0	0	2	1	1	2	0	0	9
計	3	3	0	3	0	0	2	2	3	3	0	0	19	
検査	血圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身長・体重・体組成	0	14	17	10	1	0	20	24	23	19	3	0	131
	視力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	14	17	10	1	0	20	24	23	19	3	0	131	
処置	創傷処置	5	4	3	4	0	0	2	1	1	2	0	0	22
	湿布	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
	その他	6	1	3	10	4	0	2	5	1	1	0	0	33
計	12	7	7	14	4	0	4	6	2	4	0	0	60	
休養	7	3	2	4	0	0	3	2	3	5	0	1	30	
病場	正課中	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	課外活動中	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
留学生利用数	1	0	0	0	0	0	0	9	6	5	0	0	21	

〔職員、月別〕2022年度 保健管理室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健 康 相 談	内 科	0	0	21	7	2	0	4	1	7	1	2	2	47
	外 科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	整 形 外 科	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
	皮 膚 科	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	眼 科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4
	耳 鼻 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳 神 経 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯 科 ・ 口 腔 外 科	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	泌 尿 器 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	26	12	3	0	4	2	8	3	2	2	62
与 薬	1	2	5	4	1	2	4	6	6	3	2	4	40	
医 療 機 関 へ の 紹 介	0	0	3	3	1	0	0	0	2	0	0	1	10	
診 断 書	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	
採 用 時 健 康 診 断 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
検 査	血 液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心 電 図	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0	1	0	6
	X - P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血 圧	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3
	体 重 ・ 体 脂 肪	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	5
	視 力 ・ 色 覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	聴 力 (オージオメーター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	2	1	0	0	1	3	2	1	4	2	16	
処 置	創 傷 処 置	1	1	0	1	1	0	1	7	1	1	0	1	15
	湿 布	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	2	2	1	0	1	7	1	1	0	1	18
窓 口 相 談	25	11	15	33	33	8	20	17	22	22	9	5	220	
メ ー ル 相 談	246	165	156	556	707	251	135	280	432	299	69	16	3,312	
休 養 室	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	
安 全 衛 生 関 連 の 指 導	6	5	17	13	9	1	10	11	7	28	7	15	129	
定 期 外 健 康 診 断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

〔職員、月別〕2022年度 保健室（全学教育棟）利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
窓 口 相 談	身 体 的 相 談 (内 科)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	身 体 的 相 談 (外 科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身 体 的 相 談 (そ の 他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メ ン タ ル 的 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	
検 査	血 圧	4	5	2	5	0	0	1	1	1	0	0	0	19
	身 長 ・ 体 重 ・ 体 組 成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視 力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	5	2	5	0	0	1	1	1	0	0	0	19	
処 置	創 傷 処 置	0	1	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	8
	湿 布	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	9
休 養	1	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	7	

〔学生，月別〕2022年度 保健管理室鶴舞分室・保健管理室大幸分室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関への紹介	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
医診	断	書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査	血圧	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	身長・体重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
処置	創傷処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	湿布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
窓口相談	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
休養	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	
分室利用（採血、ワクチン等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
留学生利用数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
大幸地区利用	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4	

〔職員，月別〕2022年度 保健管理室鶴舞分室・保健管理室大幸分室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
医療機関への紹介	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	5
医診	断	書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査	血圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	身長・体重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	1	0	10
	計	0	0	0	0	0	0	9	0	0	2	1	0	12
処置	創傷処置	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	湿布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
窓口相談	0	3	0	2	0	0	4	2	1	0	3	2	17	
休養	0	0	0	0	3	12	5	5	4	5	0	2	36	
分室利用	0	0	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	9	
大幸地区利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務

メンタルヘルス相談としては、大きくわけて、学生と職員に対するものがある。学生については、最近留学生の増加とともに相談も増えている（2022年度総面接回数1159回）。また家族や指導教員による学生に関する相談も多くなっている。職員については、非常勤職員を含めて相談が増えてきている（2022年度総面接回数676回）。非常勤職員の相談の増加については身分の不安定さの影響が考えられる。

来談者数、延面接回数は表の通りである。大学院生と教職員の相談が最近増加傾向にあることも注目すべきである。都合がつかず他の機関を紹介した例も多数ある。家族や指導教員による学生に関する相談も多くなっている。精神科医3名である。それに加えて、国際教育センターの精神科医が留学生や外国人教員の治療を一部と、学生相談部門として精神科医1名追加し保健室横に相談室を構え、保健管理室と連携しながら当室での面談対応もしている。

近年の傾向としては、引きこもりのケースが増えている。本人かもしくは家族が受診している引きこもりは85ケースほどあるが、未受診のものも含めると全学生で250名ほどの引きこもりがいと推定される。対応しない場合、ほとんどがそのまま退学となってしまう。また、最近では、子どもが引きこもってしまったというその親たちである教職員の相談が、非常に増えており、職員のメンタルヘルス相談の枠内で対応している。

もう一つ重要な問題は自殺である。学生と職員を合わせて年間に3名ほどの自殺者が出ている。一名の自殺に対して300名の予備軍がいると言われている。名古屋市から業務委託を受けて自殺防止のセミナーや啓蒙活動を行っている。

精神科産業医としての業務について述べておく。精神科に関連した疾患で長期に休職している職員が常時20名ほどいるので、定期的に休職の状況をフォローし、的確な治療をアレンジしている。復職に対しては、細やかにフォローすることで復職がスムーズに行えるよう対応している。

また、産業医の業務として、名古屋大学ハラスメントセンターからのリファラーの仕事がある。それは、ハラスメントによってうつ病など精神的な被害に被っている職員の診察を行い、職場に対して人道的なアドバイスを行うことでハラスメント状況の改善に寄与している。あるいは、逆に不本意ながらハラスメントで訴えられた教職員の心理的ストレスは非常なものであり、そういうケースに対しても心理的サポートを行っている。

現在、職員に関して週に一回臨床心理士の応援も得て相談業務を行っている。

2022年度 新患内訳

	統合失調症	妄想性障害	急性精神病	双極性感情障害	抑うつ状態	その他の気分障害	対人恐怖症	その他の恐怖症	不安神経症	強迫性神経症	適応障害	解離障害	心気症	離人神経症	摂食障害	睡眠障害	人格障害	アパシー症候群	広汎性発達障害	多動性障害	その他	計
1年				1	5				1	1	1				1	1					5	16
2年					1					1								2	1		9	14
3年					7						1	1			3				1	2	2	17
4年					4		1			1	1								1		4	12
5年																					1	1
大学院前期					11				1	1	4			1	1	3		4	1		8	35
大学院後期					3				1							4			1		6	15
法大院					1														1			2
その他					4						3		1						1		58	67
総計	0	0	0	1	36	0	1	0	3	4	10	1	1	1	5	8	0	6	7	2	93	179
	0	0	0	1	31	0	1	0	3	4	7	1	0	1	5	8	0	6	5	2	35	110

※「その他」は職員、研究生・研究員・科目履修生を含む

※「大学院」は大学院留学生・M・D・OD・PDを含む

※「計」の中で職員を含む項目においては下段に学生数のみの人数を示してある。

2022年度 受診者総数（学部別）

文	教育	法	経済	情報	理	医	工	農	独立研究科	その他	計
19	12	7	14	16	24	16	42	11	12	138	311

※独立研究科は、国際開発研究科・国際言語文化研究科・環境学研究科・多元数理科学研究科・情報科学研究科・創薬化学研究科・法科大学院を含む

※「その他」は職員、研究生・研究員・科目履修生等を含む

2022年度 月別受診者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	実人数
98	92	101	105	94	110	119	105	114	108	90	103	1,239	311
71	69	67	73	67	68	80	65	73	68	59	66	826	187

※「計」の中で下段に学生数のみの人数を示してある。

2022年度 月別面接回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
152	133	155	181	132	154	167	158	168	156	124	155	1,835
113	91	99	110	93	88	112	87	106	90	74	96	1,159

※「計」の中で下段に学生数のみの人数を示してある。

6. 運動実施の為のメディカルチェック

大学公認課外活動で試合出場等に診断書が必要な場合、メディカルチェックを行い、発行している。チェックの項目としては、必要に応じ、問診、血圧、脈拍、および心電図など行っている。

またライフル射撃部については、精神科医が申請のため予約診察を実施している。

メディカルチェックは定期健康診断の結果を参考としているため、定期健康診断未受診者には行っていない。

7. 感染症検査

入学時（学部1年生）に感染症に関する既往および予防接種歴の調査を行っている。

特に医学部（医学科および保健学科）1年生を対象に感染症（麻疹・風疹・水痘・ムンプス）のワクチン接種の確認をしている。

医学部医学科生の病院実習前に、B型肝炎ワクチンの接種および接種前後に抗原・抗体・肝機能検査を実施している。

8. 2022年度産業医名簿

事業場	産 業 医
東 山 地 区	総合保健体育科学センター 特任教授 小 川 豊 昭 教 授 石 黒 洋 教 授 小 池 晃 彦 教 授 山 本 明 子 准教授 坂 野 僚 一 准教授 古 橋 忠 晃
鶴 舞 地 区 医 学 部	医学系研究科 教 授 岩 井 建 志
鶴 舞 地 区 病 院	腎臓内科 講 師 小 杉 智 規 非常勤産業医 岡 田 暁 宜
大 幸 地 区	保健学科 教 授 永 田 浩 三

保 健 体 育 の 事 業

1. 「健康への道」の発行

教職員・学生の健康やスポーツ活動に対する理解と関心を高め、運動施設の利用の促進や便宜をはかる目的で年間3回発行されている。令和4年度は、140号、141号、142号を発行した。主な記事の表題、担当執筆者は以下の通りである。

	発行日	主な記事	執筆者
140	2022. 7. 27	ハラスメントについて考える 椎間板ヘルニアを経験して考える運動不足（不活動）と筋肉の萎縮 運動の上達	小池 晃彦 秋間 広 横山 慶子
141	2022. 11. 7	呼吸で知的能力をアップできる？ 一頭がよくなり、仕事 がはかどる呼吸の仕方ー 糖尿病患者と中性脂肪 ストレッチで運動中の怪我は防げるのか！？	石田 浩司 楠 正隆 水野 貴正
142	2023. 3. 13	架け橋としてのアイリッシュダンス 自閉スペクトラム症の天才たち 2023年度における健康・スポーツに関するガイドライン等 の改定	佐々木 康 小川 豊昭 田中 憲子

2. 総合保健体育科学センター主管の行事

令和4（2022）年度 スポーツ公開講座、講習会および施設開放実施状況

学内向け

名 称	対 象	募集 人数	受講 人数	担当責任者	回数	実 施 時 期	場 所
プール夜間開放	学生 院生 教職員			蛭 田 秀 一	0回	例年、授業期間に行っていたがコロナ禍の影響で実施せず。	屋内プール
夏期休業中プール開放	学生 院生 教職員			蛭 田 秀 一	0回	例年、夏季休業中に行っていたがコロナ禍の影響で実施せず。	屋内プール
テニスコート開放	学生 院生 教職員			蛭 田 秀 一	0回	例年、授業期間に行っていたがコロナ禍の影響で実施せず。	テニスコート
運動プログラム	教職員			田 中 憲 子	0回	コロナ禍の影響で実施せず。	第5体育館 新体育館トレーニングルーム
身体運動相談	学生		2	横 山 慶 子	28回	不定期	保健管理室 第5体育館など
教職員のためのトレーニングルーム利用方法講習会	教職員		84	水 野 貴 正	13回	2022.5.23～6.9 2022.10.27～11.8	新体育館トレーニングルーム
トレーニングルーム利用安全講習会	体育会 4クラブ		40	水 野 貴 正	5回	2022.6.1～7.4	新体育館トレーニングルーム
熱中症予防講習	体育会 クラブ 1年生			水 野 貴 正	1回	6月に動画資料をオンライン配信して実施した。	
救急救命講習会	体育会			水 野 貴 正	0回	例年、12月に行っていたがコロナ禍の影響で実施せず。	第5体育館
体力診断	教職員 院生			石 田 浩 司	0回	コロナ禍の影響で実施せず。	新体育館トレーニングルーム

「健康・スポーツ科学」の授業

「健康・スポーツ科学」の授業について

1. ねらいと授業科目

名古屋大学はその学術憲章のなかで、国内外に関わらず人的交流を支える文化理解、人間性の尊重を共有する構成員の育成をねらいとすることを謳っている。卒業後の社会で自ら行動力を以ってリーダーシップを発揮することが求められる名古屋大学の学生にとって、その基盤となる体力と良好な健康状態を生涯にわたり維持することは極めて重要である。

このような状況を鑑み、旧来の基本主題科目「生涯健康とスポーツ」は、平成15年度より全学基礎科目「健康・スポーツ科学」へと、さらに令和4年度より共通基礎科目「健康・スポーツ科学科目」へと名称及び内容が改められ、以下の知識・能力を身につけた人材の育成をねらいとしている。

- 1) 健康・体力の維持増進に必要な正しい知識
- 2) 運動・スポーツの健康・体力の維持増進に対する有効性の理解と、その生涯にわたる実践能力
- 3) 運動・スポーツの実践によって生活を充実させる方法の体得
- 4) 運動・スポーツの実践を通じて、人間関係を構築する基礎となるコミュニケーションスキルの体得
- 5) 社会環境の変化やストレスに対して柔軟かつ主体的に行動できる能力

2. 授業形態

「健康・スポーツ科学」は主に健康や運動に関する知識の修得を目的とする「講義」と、実践に関する知識や行動能力を身につけるための「実習」で構成される。「講義」と「実習」は互いに独立したものではなく、上記の教育目標を達成するために互いに密接な関係を持つ授業内容となっており、理論と実践の有機的な結合が図られている。

[授業内容]

- 1) 健康と運動・スポーツに関する最先端の科学的知識の修得（講義）
- 2) 生涯にわたる運動習慣を身につけさせるための基礎的能力である体力、運動能力、スキルなどの育成（実習）
- 3) スポーツにおいて自らが主体的、積極的に身体運動に取り組むことによって、科学的知識と論理的思考に基づいた知的な身体運動能力や実践的問題解決行動能力の育成（講義・実習）
- 4) スポーツを通して、チーム・組織における人間関係づくりの基礎の修得（講義・実習）

平成15年度より、これまでの基本主題科目「生涯健康とスポーツ」における「講義及び実習」と「実技」が全学基礎科目「健康・スポーツ科学」における「講義」と「実習」に改められ、講義は2単位、実習は1単位となった。取得すべき単位については法学部、工学部および情報学部を除く全ての学部で講義2単位、実習2単位の4単位が必修である。法学部は選択で卒業単位となり、工学部と情報学部は「講義」または「実習」のいずれかで2単位が必修である。

3. 「講義」について

1) 時間割編成

平成15年度より各学部ともⅠ期に開講している。学生の授業科目の選択は学生が事前登録を行い、それをもとに電算機上で振り分けた。平成23年度から、10月入学のG30（国際プログラム群）新入生を対象に、秋学期（10月～翌3月）に英語使用の講義授業1コマを開講している。また、令和4年度より、集中授業の形式で講義授業1コマを開講した。

2) 開講コマ数

令和4年度は、専任教員（12名）、非常勤講師（1名）が担当し、1年間に21コマ開講した（G30分を含む）。

3) ティーチング・アシスタントについて

令和4年度は、ティーチング・アシスタントを2コマに1名を採用した。またG30分については別枠で1名をつけた。

4. 「実習」について

1) 時間割編成

令和4年度は、新型コロナの感染症対策を徹底したうえで、表1と表2の時間割のように各学部ともⅠ期とⅡ期に実習を開講した。開講オビ数は前期8、後期8となり、コマ数は前期47（G30分1コマ含む）、後期53（G30分2コマ及び集中開講のスキー5コマを含む）であった。

2) 開講コマ数

令和4年度は専任教員（10名）、非常勤講師（18名）が担当し、1年間に100コマ（G30分3コマおよびスキー5コマを含む）の開講数であった。

3) 開講科目

健康・スポーツ科学実習は、テニス、サッカー、ソフトボール、卓球、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、スキー、フィットネス、スイミング、太極拳、ダンス、アルティメット、ゴルフの14種目を開講した。以上に加えてアダプテッド・スポーツが開講され、合計15種目が開講された。

各種目の授業内容はシラバスに詳しく述べられているが、ここでは本学の特色である集中講義による学外の授業科目（スキー）、さらに健康運動のための授業科目（フィットネス・スイミング等）、アダプテッド・スポーツの授業内容についてふれる。

・学外で実施する東海国立機構の連携授業科目

スキーなどの野外スポーツは、生涯にわたるスポーツ活動をする上で、近年大きな比重を占めるようになってきている。本学では、スキーの体験や基礎技術の修得を通じて生涯スポーツへの理解と実践力を高め、自らの健康・体力づくりへの動機を促している。スキーは例年同様受講生に人気があり、また令和2年度からは東海国立機構の連携授業として岐阜大学との共同開催の予定であった。コロナ禍で実現されていないが、今後は実現できる連携授業と考える。

・健康運動のための授業科目

この科目は、受講者の体カレベルに応じた効果的なプログラムの実施と、さらに受講者自らがプログラムを立てる能力を養成することが目的である。「フィットネス」、「スイミング」、「太極拳」、「ダンス」が開講されている。「スイミング」は学内温水プールを利用するため年間を通じて開講が可能である。

・アダプテッド・スポーツ

外傷や疾病により通常の実習の履修が困難な学生を対象に「アダプテッド・スポーツ」を開講している。保健科学部教員（医師）と体育科学部教員が協力し、個々の症状に応じたトレーニングや軽いスポーツを設定し、積極的に充実した学生生活を送るためのバックアップを行っている。

4) ティーチング・アシスタントの活用

令和4年度は前期4コマに1名ずつ、後期1コマに1名、さらにスキーに4名のティーチング・アシスタントを採用した。これとは別に、G30授業（前期1コマ、後期2コマ）に各1名を採用した。これらのティーチング・アシスタントは、授業の準備にとどまらず、実際の指導においても有意義な教育効果をもたらすと考える。授業内容によっては、今後さらに多くのティーチング・アシスタントを活用する方向で検討すべきである。

5. 「講義」および「実習」の非常勤講師（五十音順）

荒 深 裕 規	（有限会社レクリエーションサポート）
安 藤 佳代子	（日本福祉大学）
飯 田 祥 明	（南山大学）
稲 葉 泰 嗣	（中京大学）
太 田 めぐみ	（中京大学）
尾 崎 隼 朗	（東海学園大学）
加 藤 貴 英	（豊田工業高等専門学校）
小 林 洋 平	（名城大学非常勤講師）
小 屋 菜穂子	（大同大学）
佐 藤 菜穂子	（名古屋学院大学）
中 尾 綾	（日本福祉大学）
樊 孟	（中京大学研究員）
平 川 武 仁	（大阪体育大学）
廣 野 哲 郎	（日本学術振興会特別研究員）
藤 木 理 代	（名古屋学芸大学）
山 本 耕 太	（日本学術振興会特別研究員）
山 本 真 史	（日本福祉大学）
吉 子 彰 人	（中京大学）

表 2. 2022年度 「健康・スポーツ科学」 時間割 (後期・秋学期)

曜日	月		火	水	木	金
	担当教員	実習場所				
1限		実習種目				
8:45 10:15						
2限	実習7 理	石田	実習5 工(化生・マテ・電情) 佐々木 第一 テニス 第二 卓球 第三 陸上 第四 新アリ		実習5 工(物工・機航・エネ・土建) 水野 竹之内 田中 水野 ・小林 ・樊	講義1 G30 小池、酒井
10:30 12:00	石田 水野 ・平川 ・山本(耕) ・山本(真) ・飯田 ・稲葉	バドミントン フィットネス 卓球 ゴルフ ソフトボール ダンス バスケット	佐々木 ・小屋 ・佐藤 ・小林 ・太田			
3限	実習7 医(医)・農	秋間	実習5 経 横山 第二 卓球 第一 卓球 陸上 ソフトボール テニス テニス 新トレ ダンス		実習5 文・教 蛭田 秋間 蛭田 ・尾崎 ・樊 ・吉子	
13:00 14:30	石田 佐々木 秋間 ・平川 ・山本(耕) ・山本(真) ・飯田	バドミントン バスケット フィットネス 卓球 ゴルフ ソフトボール ダンス	蛭田 片山 横山 ・小屋 ・佐藤			
4限	実習1 G30		実習5 法・情・G30 山本 第二 卓球 陸上 サッカー 新アリ バドミントン 新トレ ダンス		実習5 医(保) 片山 秋間 片山 ・尾崎 ・樊 ・吉子	
14:45 16:15	片山	バドミントン	山本 佐々木 竹之内 ・佐藤			

集中授業

アダブテッド	佐々木
	竹之内
	横山
	秋間
	片山
	水野
	坂野
ス キ	横山
	・太田
	・佐藤
	・吉子

庶務關係事項

1. 人事異動（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

異動年月日	異動後の役職	氏 名	異動内容	異動前の役職	備 考
令和4年5月1日	非常勤看護師	佐野 裕美	採用		コロナ対応
令和4年7月1日	事務補佐員	王 蓉暉	採用		コロナ対応
令和4年10月1日	非常勤研究員 (小池研究室)	苟 楊	採用		令和4年11月30日退職
令和4年5月31日	非常勤看護師	原 やす子	退職		
令和4年8月31日	非常勤看護師	稲葉 英子	退職		
令和4年12月31日	事務補佐員	鬼頭 千波	退職		
令和5年3月31日	教 授	山本 裕二	定年退職		新潟医療福祉大学へ

2022年度 各種委員会委員名簿（学内）

委員会名等	任 期	保健科学部	体育科学部	備考
総合保健体育科学センター運営委員会	2021.4.1～2023.3.31	山本、小池	蛭田、秋間	
情報公開・個人情報保護審査委員会	2022.4.1～2024.3.31	古橋		
男女共同参画推進専門委員会	2022.4.1～2024.3.31		田中	
原 子 力 委 員 会	2021.4.1～2023.3.31	小池		
安 全 保 障 委 員 会	2021.4.1～2023.3.31	小池		
動 物 実 験 委 員 会	2021.4.1～2023.3.31	坂野		
利益相反マネジメント専門委員会	2022.4.1～2024.3.31	古橋		
全学教育企画委員会	2021.4.1～2023.3.31		秋間	
国際教育運営委員会	2022.4.1～2024.3.31		秋間	
教養教育院統括会議	2021.4.1～2023.3.31		秋間	
教養教育院統括部基盤科学部門健康・ スポーツ科学部会	2021.4.1～2023.3.31	坂野、古橋	秋間、佐々木、 竹之内	
情報セキュリティ組織連絡協議会	2017.4.1～		横山	
情報メディア教育システム運営協議会	2022.4.1～2024.3.31		山本	
図書館委員会（旧 図書館商議委員会）	2021.4.1～2023.3.31	古橋		
高 等 研 究 院 会 議	2022.4.1～2024.3.31	古橋		
東山キャンパス関係部局倫理審査委員会	2022.4.1～2024.3.31		水野、石田	
全学人事プロセス委員会学術委員	2022.4.1～2024.3.31	石黒		
組換えDNA実験安全委員会	2022.4.1～2024.3.31	坂野		

職指定委員会（センター長）

委員会名等	任 期	保健科学部	体育科学部	備考
教 育 研 究 評 議 会		石黒		職指定
将 来 構 想 分 科 会		石黒		職指定
教 育 分 科 会		石黒		職指定
国 際 戦 略 分 科 会		石黒		職指定
執 行 会 議		石黒		職指定
教 育 研 究 評 議 会 総 務 分 科 会		石黒		

職指定委員会（保健管理室長）

委員会名等	任 期	保健科学部	体育科学部	備考
総合保健体育科学センター運営委員会	2021.4.1～2023.3.31	山本		職指定
環 境 安 全 衛 生 推 進 本 部 会 議		山本		職指定
東 山 地 区 安 全 衛 生 委 員 会		山本		職指定
鳥インフルエンザ対策委員会		山本		職指定
防 災 推 進 本 部 会 議		山本		職指定
ハラスメント相談センター運営委員会		山本		職指定
ハラスメント防止対策委員会		山本		職指定
障 害 者 差 別 解 消 委 員 会、 障 害 者 障 害 者 等 配 慮 事 項 検 討 部 会		山本		職指定
組 換 え D N A 実 験 安 全 委 員 会		山本		職指定
バ イ オ セ ー フ テ ィ 委 員 会	2018.4.1～	山本		職指定
排 水 管 理 責 任 者 (保 健 管 理 室)	2009.4.1～	山本		職指定
排 水 管 理 責 任 者 (セ ン タ ー 本 館)	2009.4.1～	山本		職指定

指定なし

委員会名等	任 期	保健科学部	体育科学部	備考
ハラスメント相談センター長	—	小池		総長の指名
個 人 情 報 保 護 管 理 者	2009.4.1～	[主任]	[主任]	
ホ ー ム カ ミ ン グ デ イ 部 局 代 表 者	2022年度		佐々木	
ハラスメントの苦情に関する 「部局受付窓口担当員」	2022.4.1～2024.3.31	千藤		
学 童 保 育 所 検 討 委 員 会 委 員	2021.4.1～2023.3.31		山本	
コ ン ソ ー シ ア ム 推 進 室 会 議	2022.4.1～2024.3.31		佐々木	
学 生 支 援 本 部 運 営 委 員 会	2021.4.1～2023.3.31	坂野		
学 生 支 援 本 部 兼 任 相 談 員	2021.4.1～2023.3.31		秋間、佐々木	
全 学 計 画 ・ 評 価 担 当 者 会 議	2021.4.1～2023.3.31		山本	
I R 本 部 会 議 ワ ー キ ン グ グ ル ー プ ア ソ シ エ イ ト メ ン バ ー (注)	2021.4.1～2023.3.31	小池		
蔵 書 整 備 ア ド バ イ ザ ー (3 年)	2020.4.1～2023.3.31	山本	蛭田、佐々木	

2022年度 各種委員会委員名簿（保体センター内）

委員会等名	保健科学部	体育科学部	備考
センター長	石黒		
副センター長		蛭田	
科学部主任	山本	蛭田	
教務委員会	坂野、古橋	◎秋間、佐々木、竹之内	
企画委員会（旧予算委員会）	山本、小池	◎蛭田、山本	
編集委員会	小池、坂野、長島	◎竹之内、山本、水野	紀要、コロキウム
広報委員会	◎坂野、小池、長島	竹之内、山本、水野	健康への道、 年報、HP
図書委員会	◎古橋、坂野	蛭田、秋間	
健康・スポーツ系研究審査委員会	坂野、古橋	◎石田、佐々木、片山、 水野、横山	
動物実験委員会	◎坂野、小池、山本	竹之内、秋間	
診療所（保健管理室）事務連絡会	◎山本、古橋		
運動施設委員会		◎蛭田、片山、水野、横山	
トレーニングルーム運営管理委員会		◎石田、山本、水野、横山	
男女共同参画推進検討委員会	山本	田中	
安全衛生委員会	◎山本	蛭田	
寄附研究部門運営委員会	石黒、楠、古橋	竹之内	
組換えDNA実験安全委員会	◎坂野、小池、山本		

◎は、委員長を示す。

保健管理室長	山本		
--------	----	--	--

国立大学法人保健管理施設等協議会	山本		保健のみ
全国大学体育連合		山本	体育のみ

医学系研究科教育委員会		片山	
医学系研究科修士運営委員会			
医学系研究科生命倫理委員会			

あ と が き

総合保健体育科学センターの2022年度（令和4年4月－令和5年3月）の保健管理業務、センター事業、「健康・スポーツ科学」の授業についてまとめた総合保健体育科学センター年報第45号をお届けします。

2022年度においては、4月1日に改正民法が施行され、成人年齢が18歳に変更されました（つまり、飛び級でもしない限り、大学への入学者は全て「成人」ということになります）。同じく2022年度には、車いすテニスの国枝慎吾選手がウィンブルドンのシングルスで金メダルを獲得し、四大大会とパラリンピックを制覇する「生涯ゴールデン Slam」を達成しました。その国枝選手が、大きな国際大会で初めて金メダルを獲得したのが、今からちょうど18年前にあたる、2004年のアテネパラリンピックのダブルスでした。国枝選手は2022年度に世界ランキング1位のまま引退なさいましたが、乳児が成人になるのと同じ期間を、トップ選手として戦い続けたことになります。決して楽な道ではなかったはずです。グランドスラムでは歴代最多となる50回の優勝、パラリンピックでは4個の金メダルを獲得なさいた国枝選手の偉業は、今後も語り継がれていくことでしょう。

2020年1月に日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されて、3年が過ぎました。国枝選手の18年に比べれば、3年はとても短い期間です。しかし、この3年間で私達の生活様式は随分と様変わりしました。臨機応変な対応を求められ、戸惑うことも未だにあります。それでも、ワクチンや治療薬などの開発が進んだことにより、2022年度には感染者を全数把握する体制が見直されたほか、年度末にあたる2023年3月中旬からは、屋内・屋外を問わず、マスクの着用が個人の判断に委ねられるようになりました。本学の行動指針や授業方針における制限もだいぶ緩和されました。一方、光熱費の高騰により、学内運動施設の運用をコロナ禍前のように戻すまでには、もう少し時間がかかりそうです。2023年度におけるポストコロナへのより一層の移行を、心より祈念しています。

（2023年10月 2023年度 広報委員 田中憲子）

2023年10月

編集兼発行

名古屋大学

総合保健体育科学センター

名古屋市千種区不老町

電話 789-3946 (ダイヤルイン)

印刷所

品川プロセス印刷株式会社

名古屋市東区東片端町52番地

電話 931-6741